最初にお読みください

Panasonic

パーソナルコンピューター
# 取扱説明書

品番 CF-M2 シリーズ

Let's note

Me

# セットアップ編
## セットアップ・Windows 入門

## 説明書の構成

| 取扱説明書 | オンラインマニュアル |
| --- | --- |
| **セットアップ編（本書）**<br>コンピューターを使うための準備作業をするときに。また、初めてのかたを対象に、Windows（ウィンドウズ）の基本操作を、具体例を通して説明しています。<br>**活用編**<br>安全上のご注意など、取り扱いについての説明に始まり、便利な機能やプライベートキーの使いかた、通信のしかた、省電力機能、周辺機器の拡張のしかた、困ったときの対処方法などについて説明しています。 | 画面上で参照できるマニュアルです。<br>「オンラインマニュアル」の見かたについては、取扱説明書『活用編』をご覧ください。<br>**困ったときの Q&A**<br>本機が思ったように動かないなど困ったときの対処方法をQ&A方式で説明しています。<br>**パソコン・サポートとつきあう方法**<br>初めてのかたを対象に、お客様のご相談窓口を上手に利用する方法や、コンピューターの専門的な用語・略語などについて説明しています。<br>（編集：社団法人 日本電子工業振興協会）<br>**コマンド一覧**<br>次のコマンド一覧を用意しています。ATコマンドを使って通信する場合にご利用ください。<br>・内蔵モデムコマンド一覧<br>・ワイヤレスコムポートコマンド一覧 |

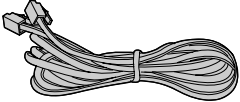
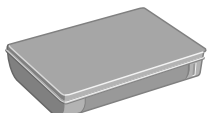
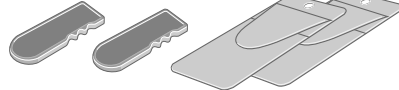
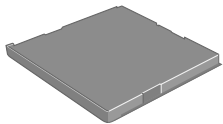
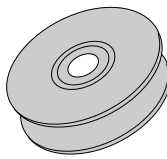
このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

Panasonic PCオンラインメンバー登録のお願い

ご使用に際して、オンラインメンバー登録をしていただきますようお願いいたします。
（操作方法など詳しくは、本書14ページをご覧ください。）

# はじめに

## 本書の読みかた

**ご使用の前に、取扱説明書『活用編』の「安全上のご注意」をよくお読みください。
本製品を安全にお使いいただく上で大切な情報が記載されています。**

### 表記の約束

- キーの文字は、説明や操作に必要な文字だけを四角で囲んでいます。
  （例） [N み] は [N] や [み] と表記します。
- あるキーを押しながら、別のキーを押すような操作の説明は、次のように「＋」を使って表記します。
  （例） [Fn] ＋ [F6]
- 「スタート」→[Windowsの終了]などは、[スタート]をクリックした後、[Windowsの終了]をクリックすることを意味します。（内容によっては、ダブルクリックが必要であったり、ポインターを置くだけでいい場合もあります。）「クリック」「ダブルクリック」については→26ページ
- 本文中の画面例は、一部実際と異なる場合があります。

## 付属品を確認しましょう

**コンピューター本体（CD-R/RWドライブ内蔵）以外に下記の付属品があります。万一、足りない場合、または購入したものと異なる場合は、お買い上げになった販売店にお確かめください。**

**●コンピューター本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を確認してください。（→取扱説明書『活用編』「ソフトウェア使用許諾書」）**

| ACアダプター ........................ 1個 | | モジュラーケーブル .. 1本 | 標準バッテリーパック .. 1個 |
|---|---|---|---|
| 品番：CF-AA1533J | （電源コード1本付き） | | 品番：CF-VZSU16 |

| 外部FDD ....... 1個 | プライベートキー ........... 2個 | ウェイトセーバー ........ 1個 |
|---|---|---|
| （フロッピーディスクドライブ）<br>品番：CF-VFDU03 | 品番：CF-VPKS01J<br>（→取扱説明書『活用編』）（キーケース2個付き）<br>・プライベートキーは、コンピューター本体の梱包袋の上に貼り付けられています。 | （取り付け/取り外しのしかたは、CD-R/RWドライブと同様です。→取扱説明書『活用編』「周辺機器を拡張する」） |

| 印刷物 | プロダクトリカバリーCD-ROM ... 2枚 |
|---|---|
| ●取扱説明書『セットアップ編』（本書）<br>●取扱説明書『活用編』 ●まいと～くのご案内<br>●Hi-HOのご案内 ●ユーザーフォーラムのご紹介<br>●困ったときのチェックシート ●ニフティのご案内<br>●パソコンクイックサービスのご案内 ●DION・ODNのご案内（各1枚）<br>●保証書 ●Windowsマニュアル<br>●キーラベル（プライベートキー貼付用）<br>●「Easy CD Creator™4 / DirectCD™3」のご案内 | |

・別売りの商品については、『活用編』「別売り商品」でご確認ください。

# もくじ

## 接続



## 準備
（必ず、ご覧ください。）



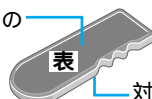
## Windows 入門
（初めてのかた）

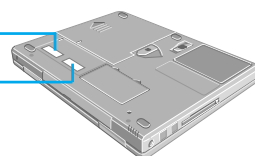




**プライベートキーを確認してください。**

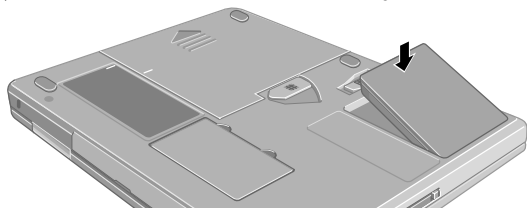
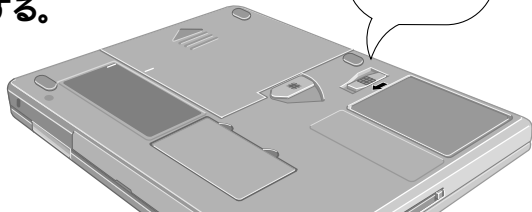
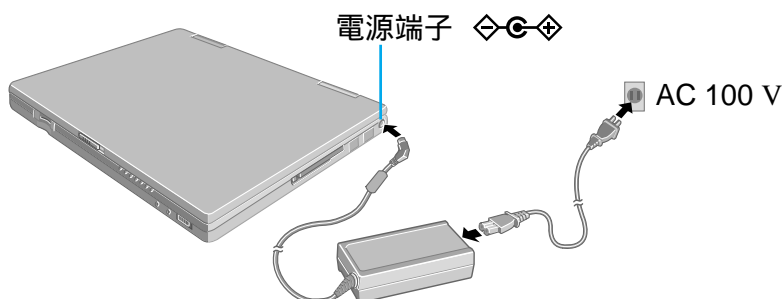
プライベートキーは、各コンピューターに固有のものです。
（他のコンピューターに付属のプライベートキーは使用できません。）
プライベートキーには対応するコンピューターの機種品番および製造番号が明記されています。
必ず、コンピューター本体裏面に記載の機種品番および製造番号と合っているか、ご確認ください。

プライベートキー
“Private key”の印字のある側
表
対応するコンピューターの機種品番および製造番号は裏面に記載

# 電源を接続しましょう

接続

バッテリーパックやACアダプターの「安全上のご注意」および取り扱いについて詳しくは、取扱説明書『活用編』をご覧ください。

## 1 バッテリーパックを取り付ける。

①本体を裏返す。

②付属の標準バッテリーパックをコネクターのない側から挿入し、カチッと音がするまで押す。

③ラッチを矢印の方向にスライドして、ロックする。

## 2 付属のACアダプターを接続する。

**お願い**

指定のバッテリーパック以外は使用しないでください。

◀付属の標準バッテリーパックは、工場出荷時には充電されていません。コンピューター本体にバッテリーパックを取り付けた状態でACアダプターを接続すると、自動的に充電が始まります。

充電にかかる時間
電源入時：最短約2.5時間*
電源切時：約2.5時間
*コンピューターの動作状態により変わります。

## ⚠警告

### コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

### 電源コード･電源プラグ･ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり､加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり､ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電･ショート･火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

※このほか、『活用編』の「安全上のご注意」をよく読んでご使用ください。

# 電源を入れてWindowsの準備をしましょう(初回のみ)

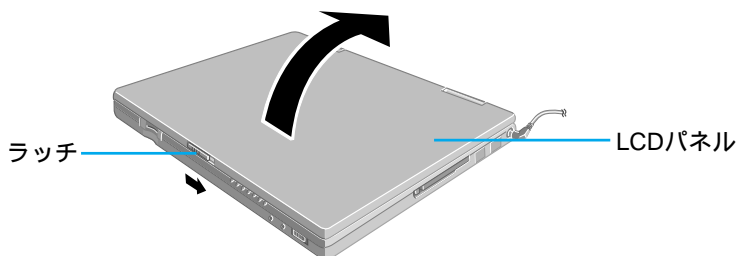
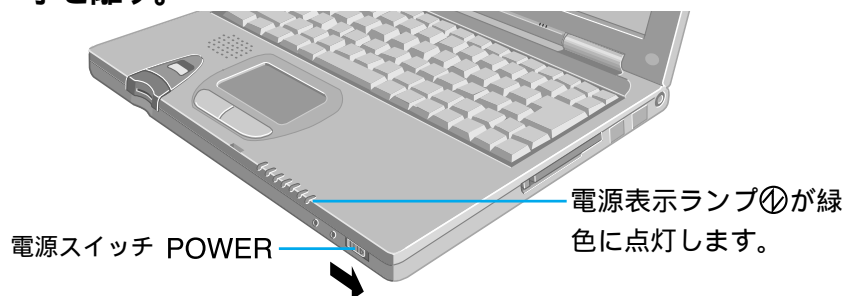
バッテリーパックとACアダプターの接続ができたら、いよいよ電源を入れます。

## 電源を入れて Windows をセットアップします

コンピューターを使うには、最初に1回、使用許諾契約書に同意する必要があります。これをWindowsのセットアップといいます。

**1** 本体底面のラベルに記載されているプロダクトキー（Product Key：数字とアルファベット）を本書の余白（→43ページの記入欄）などに記入する。

**2** ディスプレイを開ける。

ラッチを矢印の方向にスライドし、LCDパネルを開けてください。

**3** 電源スイッチをスライドし、電源表示ランプが点灯したら手を離す。

（次ページへ続く）

**お願い**

・プロダクトキーは再インストール後（→取扱説明書『活用編』）のセットアップ時に使用します。操作の途中で本体を裏返す必要のないように、参照しやすいところに記入しておいてください。

<プロダクトキーラベルの例>
ラベルのイメージは、予告なく変更されることがあります。

・数字やアルファベットを間違えないように記入してください。

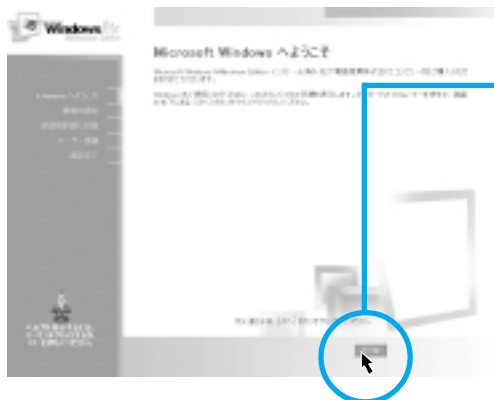
Ｑ：アルファベットのQ（キュー）です。
８：数字の8です。
Ｂ：アルファベットのB（ビー）です。

準備

**用語**

Windows：コンピューターを動かしたり、使用環境を整えたりする上で、なくてはならない基本システムです。ウィンドウ（窓）のような小画面を画面上に開いて操作するので、「ウィンドウズ」と名付けられています。（正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemです。本書では、 Windowsまたは Windows Meと表記します。）

# 電源を入れてWindowsの準備をしましょう(初回のみ)

準備

スマートポインターをこすって矢印を合わせ、左ボタンをカチッと1回押す。
(以降の手順で クリック と書かれていたら、上記と同様の操作をしてください。)

[省略]を クリック して次のステップへ進む。

日本語の入力練習をしたい方は、[次へ]をクリックし、画面に従って操作してください。

**お願い**

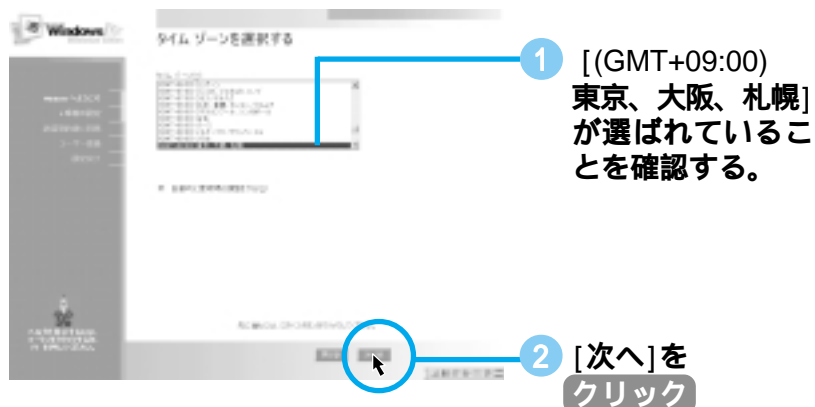
- 画面に変化がなくても内部ではコンピューターが動いています。左の画面が表示されるまでお待ちください。
- この後、Windowsのセットアップが終わる(9ページ)まで、絶対に電源を切らないでください。また、セットアップは、最後まで続けて行ってください。

スマートポインターとクリックボタンの基本操作　→次ページ

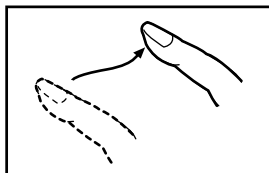
## 4 タイムゾーンを設定する。

1 [(GMT+09:00) 東京、大阪、札幌]が選ばれていることを確認する。

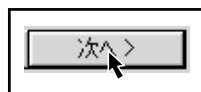
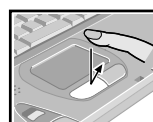
2 [次へ]を クリック

準備

### スマートポインターとクリックボタンの基本操作（詳しくは→26ページ）

スマートポインターを指の腹で軽くこすると、その動きに合わせて画面上の矢印が動きます。動かすスペースがなくなったら、指を適当な場所に置き直し、操作を続けてください。

指の動き

画面上の矢印（ポインター）の動き

＜ クリック のしかた＞

①画面上の矢印（ポインター）を選択したい項目にあわせる。

②左ボタンをカチッと１回押す。

### 間違って[次へ]をクリックしてしまったら

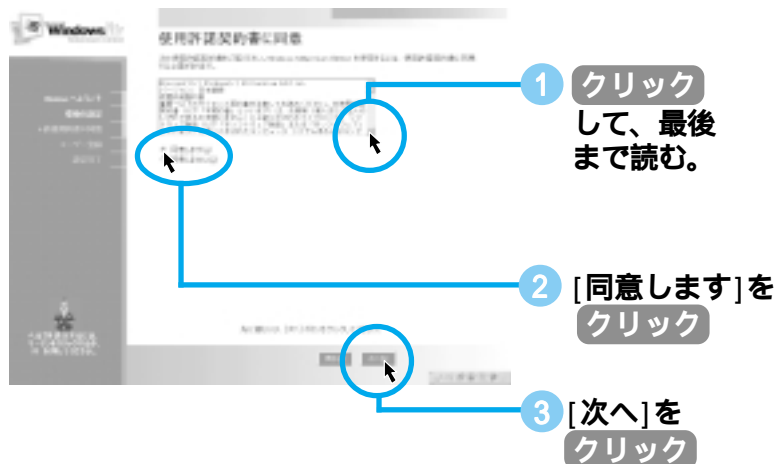
あわてずに、[戻る]に矢印をあわせてクリックします。１つ前の画面に戻ります。

### 操作中に画面が真っ暗になったら

工場出荷時は省電力設定がされているため、操作をせずに数分間*1置いておくと自動的に画面の表示が消え、電力の消費が抑えられます。いずれかのキー*2を1回押すかスマートポインターを操作すると、元の画面に戻ります。

*1 工場出荷状態では、バッテリーパックだけで動作しているとき3分間、ACアダプターを接続しているとき15分間です。

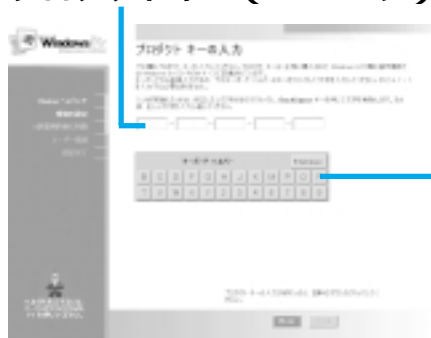
*2 Ctrl キーなど、入力待ち画面でも影響のないキーを押してください。

## 5 「使用許諾契約書」をよく読む。

◀ をクリックすると、下方にある文章が表示されます。

◀「同意します」の文字、または、左横の をクリックすると、 になります。

◀「同意しません」を選ぶと、Windowsのセットアップが中止されます。

**再インストール後にセットアップする場合は、手順5の操作後、下記手順を行ってください。**

**プロダクトキー（→5ページ）を入力する。**

プロダクトキーの入力

・そのままキーを押すと、アルファベットを入力できます。

・ハイフン（-）は必要ありません。５桁を入力したら自動的に右横の枠にカーソル（I）が移動します。

・下記の数字とアルファベットを間違えないようにしてください。

Q：アルファベットのQ（キュー）です。

8：数字の8です。

B：アルファベットのB（ビー）です。

上記は一例です。プロダクトキーが入力できないときは、本体底面に貼り付けられているラベルを再度確認し、入力し直してください。入力を1文字でも間違うとセットアップを完了することができません。

・プロダクトキーに使用されていない文字（キーボードヘルパーにない文字）には、キーを押しても入力できないものがあります。

＜「プロダクトキーが違います」という表示が出たら＞

①[戻る]をクリックします。

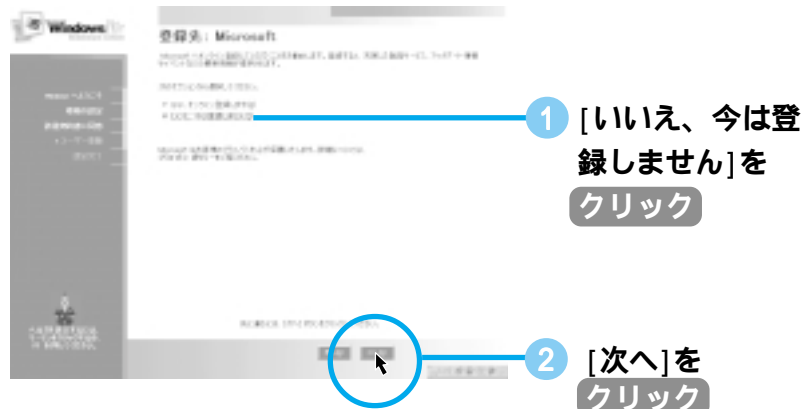
②プロダクトキー入力画面に戻りますので、訂正する文字の右をクリックします。（カーソル(I)が表示されます。）

③ Back space を押して文字を消し、入力し直してください。

**用 語**

プロダクトキー　：コンピューターの識別番号です。

使用許諾契約　：Windowsを使用するにあたって、不正な行為を行わないことを約束するためのものです。（不正な行為とは、Windowsをコピーして第3者に渡すことなどをいいます。）

## 6 Microsoftへの登録をしないで次へ進む。

## 7 Windowsのセットアップを完了する。

これで、Windowsを使用できるようになりました。

◀オンライン上で登録を行うには、通信できるように環境を整える必要があります。オンライン登録は、セットアップ終了後、通信の設定（→取扱説明書『活用編』）を行った後に、下記の方法で行うことができます。

①[スタート]→[ヘルプ]をクリックする。

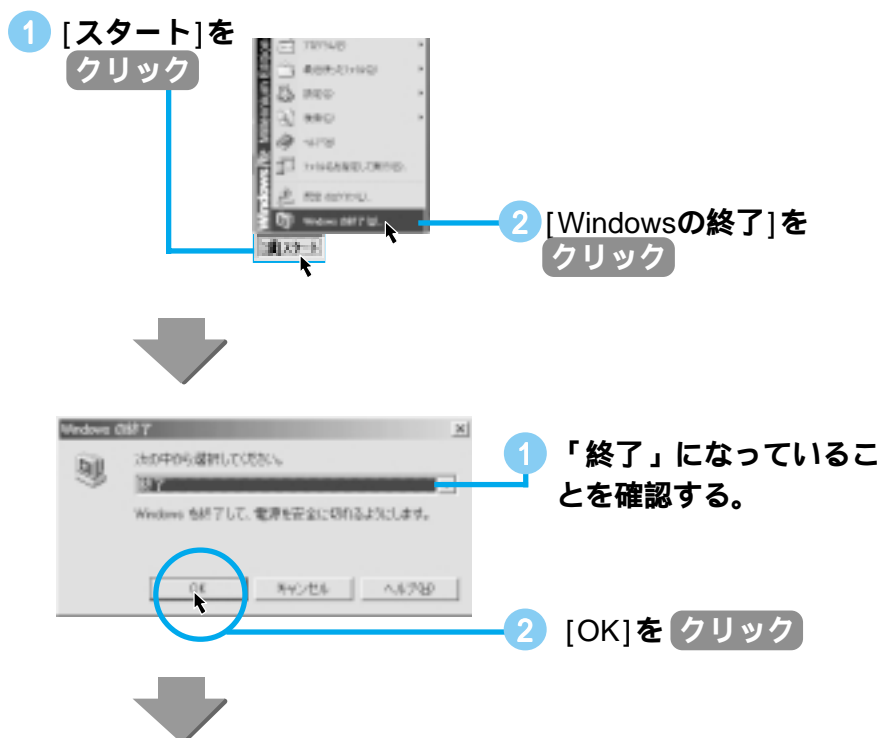
②画面右上の検索ボックスに「オンライン」と入力する。

③[Go]をクリックする。

④[Windowsオンラインに登録する]をクリックする。
あとは画面の指示に従ってください。

準備

# 正しい電源の切りかたを覚えましょう

電源を切るときは、必ず下記手順に従って「Windowsの終了」操作を行ってください。また、アプリケーションソフトを使用した場合、データを保存し、そのアプリケーションソフトを終了してからWindowsを終了してください。

◀終了操作を正しく行わなかった場合、入力したデータは消え、コンピューターの中身が壊れることがあります。



◀キーボードを使って終了する場合
[Windowsキー] を押してスタートメニューを表示し、[Windowsの終了]を選んでください。

◀「終了」になっていない場合
▼をクリックし、「終了」を選びます。

自動的にコンピューターの電源が切れます。（電源表示ランプ⏻ が消灯します。）

**お願い**

コンピューター本体にACアダプターを接続しないときは、コンセント側も抜いておいてください。
（ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1 Wの電力が消費されます。）

## しばらく作業を中断するときは

作業中にしばらく席を外すときは、コンピューターを「スタンバイ」や「休止状態」にしておくと便利です。「スタンバイ」や「休止状態」にすると、使用中の画面やファイルは本体内に一時的に記憶され、コンピューターの電源は「切」の状態になります。次に電源を入れたときには前回使用していた画面やファイルなどが表示され、すぐに作業を再開できます。
（→取扱説明書『活用編』「スタンバイと休止状態機能」）

**用 語**

アプリケーションソフト：文章を作ったり、お絵描きをしたり、インターネットで情報を見たり、いろいろな働きをするように組まれたプログラムの総称。ワードパッド（→27ページ）なども文書作成のアプリケーションソフトのひとつです。

# 電源を入れましょう(２回目以降)

ここでは、Windowsのセットアップ完了以降の電源の入れかたについて説明します。プリンターなど周辺機器を接続している場合には、電源の入れかたに順番があります。

Windows のセットアップ
→5ページ

**1** プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、各周辺機器の電源を入れる。

周辺機器について
『活用編』「周辺機器を拡張する」をご覧ください。また、各周辺機器に付属の説明書もご覧ください。

**2** 電源スイッチをスライドし、電源表示ランプが点灯したら手を離す。

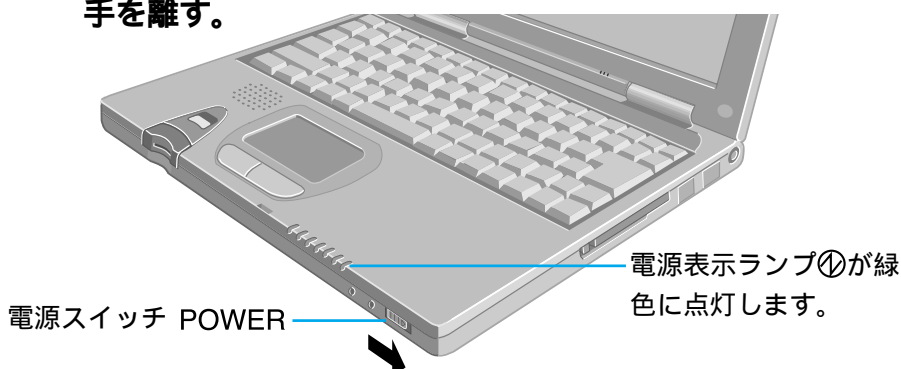
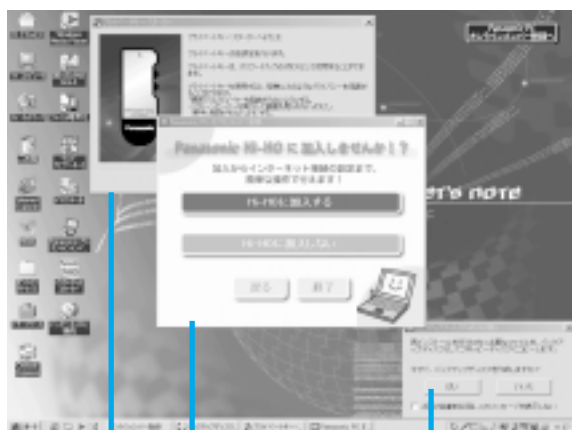
電源スイッチ POWER

電源表示ランプ⏻が緑色に点灯します。

お願い

Windowsが完全に起動するまで、スタートメニューをクリックするなどの操作はしないでください。

音量が大きい（小さい）と感じたら
Fn ＋ F5 、Fn ＋ F6 で調整してください。
→『活用編』「キーボードの操作」

画面が見にくいと感じたら
Fn ＋ F1 、Fn ＋ F2 で調整してください。
→『活用編』「キーボードの操作」

しばらくすると、次のような画面が表示されます。

<バックアップディスク作成のお願い>
バックアップディスクを作成してください。（→次ページ）

<オンラインメンバー登録>
オンラインメンバー登録をしてください。オンラインメンバー登録をすると、電子メールで新製品の情報提供や技術サポートを受けることができます。（→14ページ）

<プライベートキースターター>
プライベートキーがセットされている場合にのみ表示されます。この画面からプライベートキーを使用するために必要な初期設定を行います。『活用編』「プライベートキーを使う」をよくご覧のうえ、操作してください。

◀バックアップディスク作成やオンラインメンバー登録、プライベートキースターターのメッセージ画面は、それぞれの設定を完了すると表示されなくなります。
バックアップディスクを作成し、オンラインメンバー登録を終えてから、プライベートキーの初期設定を行ってください。

◀お買い上げ後、はじめてプライベートキーをセットしたときには表示されません。左記画面が表示されていない場合は、いったん、プライベートキーを抜いて挿入しなおしてください。

# 万一のトラブルに備えましょう **重要**

コンピューターが正常に動作しなくなったり、ハードディスクの内容が消えてしまったりした場合、「再インストール」と呼ばれる操作を行って工場出荷状態と同等の状態に戻すことができます。再インストールをするには、以下の方法でバックアップディスクを作成しておく必要があります。

準備

## バックアップディスクを作成します

必ず、お買い上げ後すぐにバックアップディスクを作成し、付属のプロダクトリカバリーCD-ROMと共に大切に保管しておいてください。
（バックアップディスクは、再インストールが必要になってからでは作成できません。）

バックアップディスクには、以下のものがあります。
・ファーストエイドFD
・アップデートFD（作成しなくてもよい場合があります。次ページの手順3で作成画面が表示された場合のみ作成してください。）

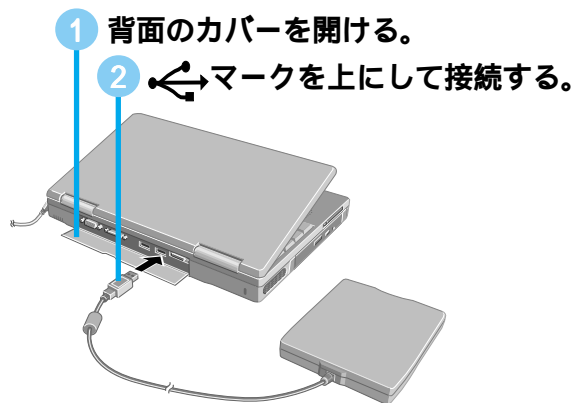
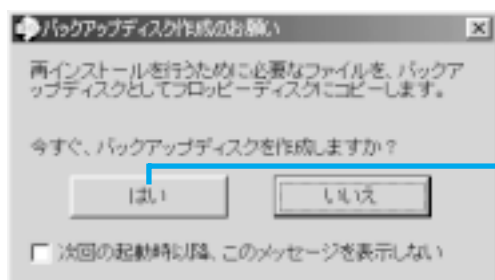
バックアップディスクの作成
再インストールを行うために必要ないくつかのファイルをハードディスクからフロッピーディスクにコピーする操作です。
個人のファイルのバックアップ
ここで説明しているバックアップは本機を工場出荷状態に戻すためのものです。個人で作成したファイルについては、お客様ご自身で必要に応じてバックアップを取ってください。

<準備するもの>
・フロッピーディスクドライブ（付属）
・2HDのフロッピーディスク1枚（別売）

◀次ページ手順3で「アップデートFD」の作成画面が表示された場合、フロッピーディスクはその分を加えた枚数が必要になります。

**1** フロッピーディスクドライブをUSBコネクターに接続する。

① 背面のカバーを開ける。
② マークを上にして接続する。

◀フロッピーディスクドライブの取り付けかたについて詳しくは、『活用編』「周辺機器を拡張する」をご覧ください。
◀ACアダプターも取り付けておいてください。

**2** 「バックアップディスク作成」プログラムを起動する。

・「バックアップディスク作成」プログラムは、[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]→[バックアップディスク作成]をクリックしても起動することができます。

**お願い**
バックアップディスクの作成中は、その他のアプリケーションソフトは実行しないでください。ウィルスチェックプログラムなど常に稼働しているソフトウェア（常駐ソフトウェア）がある場合は、それらを終了してください。（終了のしかたについては、各ソフトウェアの説明書をご覧ください。）
ただし、「オンラインメンバー登録」と「プライベートキースターター」の各画面は、終了する必要はありません。

## 3 バックアップディスクを順に作成する。

1 内容を読む。

2 [OK]を クリック

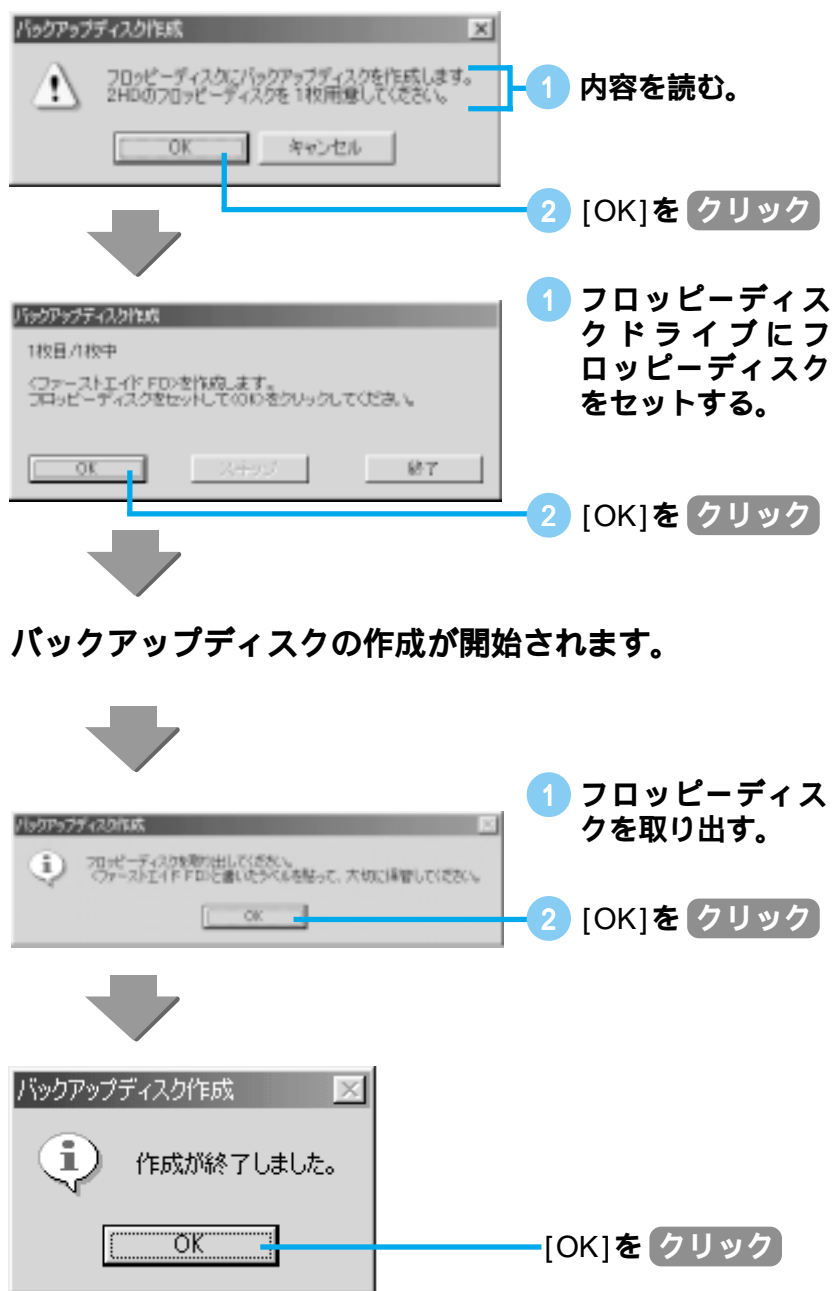
1 フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクをセットする。

2 [OK]を クリック

バックアップディスクの作成が開始されます。

1 フロッピーディスクを取り出す。

2 [OK]を クリック

[OK]を クリック

◀バックアップディスクの作成中に「コピーするファイルが足りません。」というメッセージが表示された場合は、[OK]を選んで操作を終了し、お買い上げの販売店または「ご相談窓口」（→『活用編』「保証とアフターサービス」）にご相談ください。

◀左画面のフロッピーディスクの枚数は一例です。実際とは異なることがあります。

フロッピーディスクのセット/取り出し

詳しくは『活用編』「周辺機器を拡張する」をご覧ください。

**お願い**

フロッピーディスクドライブのアクセスランプ点灯中に、フロッピーディスクを取り出したり、フロッピーディスクドライブを取り外したり、電源を切ったりしないでください。

◀取り出したフロッピーディスクにはフロッピーラベルを貼って名称（「ファーストエイドFD」など）を書いておいてください。

アップデートFDの作成画面が表示された場合

画面の指示に従って作成してください。

### Windows の起動ディスクについて

Windowsが起動できないなどのトラブルに備えて、起動ディスクを作成しておくことをおすすめします。

＜作成のしかた＞

①[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]をダブルクリックする。

②[起動ディスク]→[ディスクの作成]をクリックする。

以降は画面のメッセージに従って操作してください。

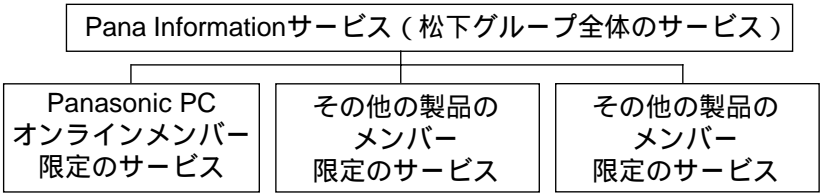
# オンラインメンバー登録をしましょう 重要



Panasonic PC オンラインメンバーに登録すると、インターネット・電子メールを利用して、情報の提供や技術サポート（メールテクニカルサポート）などを受けることができます。また、Panasonic PC オンラインメンバーに登録すると、松下グループ全体のサービスを提供する「Pana Informationサービス」にも自動的に登録され、「Pana Information ID」を取得することになります。

「Pana Information ID」は、松下グループ全体に共通のものです。１回取得すると、今後、他の製品のメンバー登録の際にこのIDを使用できます。

Pana Informationサービス（松下グループ全体のサービス）

- Panasonic PC オンラインメンバー限定のサービス
- その他の製品のメンバー限定のサービス
- その他の製品のメンバー限定のサービス

◀Panasonic PC オンラインメンバーに登録するためには、メールアドレスが必要です。

メールアドレスがない場合は
この機会にいずれかのプロバイダーに加入し、電子メールアドレスを取得することをおすすめします。
オンラインメンバー登録の際にプロバイダーPanasonic Hi-HOに加入し、すぐにメールアドレスを取得することができます。Panasonic Hi-HOについては、付属別紙の「Hi-HOのご案内」をご覧ください。また、加入手続きの際には、クレジットカードのナンバーを入力する必要がありますので、お手元にご用意ください。

**お願い**
メールアドレスを取得しない場合は、Panasonic PC オンラインメンバーに登録することができません。

## 登録の前に

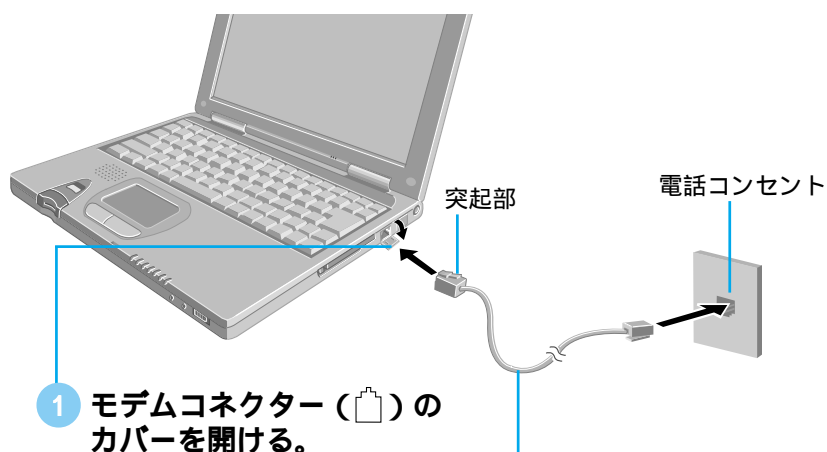
「Pana Information ID」やメールアドレスを持っている、持っていないなどによって「Panasonic PC オンラインメンバー登録」の操作手順が異なります。
まず、下記の表で、操作の流れおよび受けることのできるサービスについて確認してください。

| Pana Information ID | メールアドレス | 操作 | 受けることができるサービス |
|---|---|---|---|
| 持っている | 持っている | すでにお持ちのIDを使ってPanasonic PCオンラインメンバー登録をしてください。 | • Pana Informationサービス※<br>• Panasonic PC オンラインメンバー限定のサービス<br>※ Panasonic PC オンラインメンバーに登録すると、自動的にPana Informationサービスも受けることができます。 |
| 持っていない | 持っている | Panasonic PCオンラインメンバー登録をしてください。 | |
| | 持っていない | 登録操作の際にHi-HOに加入した後、Panasonic PCオンラインメンバー登録をしてください。<br>また、後日メールアドレスを取得し、Panasonic PCオンラインのホームページからオンラインメンバー登録することもできます。（→24ページ） | （Panasonic PCのオンラインメンバー登録を行わなくても、製品の保証とアフターサービスは受けることができます。→『活用編』「ソフトウェア使用許諾書」および「保証とアフターサービス」） |

## 電話回線に接続します

登録操作は電話回線を通じて画面上で行います。フリーダイヤルなので登録手続き中の電話料金はかかりません。
ここでは、内蔵モデムを使って、一般のアナログ電話回線に接続する場合を例にして説明しています。

### 1 内蔵モデムと電話コンセントを接続する。

① モデムコネクター（）のカバーを開ける。

② 付属のモジュラーケーブルでコンピューターと電話コンセントをつなぐ。
突起部をコネクターの向きに合わせて、カチッと音がするまで差し込んでください。

◀携帯電話、PHS電話を使ってオンラインメンバー登録をすることはできません。

◀ＩＳＤＮ回線を使用する場合は、ターミナルアダプターの説明書をご覧のうえ、接続および設定を行ってください。

◀モジュラーケーブルを取り外すときは、突起部を押さえながら引き抜いてください。

◀日本国内の一般電話回線で使用してください。また、電話コンセントの形状によっては工事が必要な場合があります。
→取扱説明書『活用編』

**お願い**

LAN コネクター（）に接続しないでください。

## ⚠注意

**モデムは日本国内の一般電話回線で使用する**

会社、事務所等の内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話のデジタル側コンセントに接続したり、海外で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

### オンラインメンバー登録は一度だけ

オンラインメンバー登録は一度しか行えません。登録が完了すると「Panasonic PCオンラインメンバー登録」プログラムは終了し、画面上のは削除されます。（登録内容を変更する場合は24ページをご覧ください。）コンピューターを再起動すると、ウェブナビゲーター*のアイコンが画面右上に作成されます。

* ウェブナビゲーターのアイコンは、一度もウェブナビゲーターを起動していない場合にのみ表示されます。「ウェブナビゲーター」では、どのようなホームページがあるのか、幅広いジャンルのホームページを一覧表示してご紹介します。（→取扱説明書『活用編』）

### オンラインメンバー登録を他の方法で行うには

オンラインメンバー登録は「Panasonic PCオンラインのホームページ」から行うこともできます。（→24ページ）

準備

# オンラインメンバー登録をしましょう

## オンラインメンバー登録をします



**お願い**

Internet Explorer（インターネットエクスプローラ）を起動している場合は、終了してください。
Internet Explorerを起動していると、オンラインメンバー登録が正常に行えない場合があります。

**1** 「Panasonic PC オンラインメンバー登録」を起動する。

2回目以降にコンピューターを起動すると、アニメーションが始まってオンラインメンバー登録について説明します（約1分）。

<Pana Information IDをお持ちでない場合>
ここを クリック
→次ページ手順2へ

<Pana Information IDをお持ちの場合>
ここを クリック →23ページへ

◀画面右上のアイコン [Panasonic PC オンラインメンバー登録へ] をダブルクリックしても登録画面が表示されます。

◀「コントロールパネル」の「画面」で色数が「256色」に設定されている場合は、アニメーション表示はされません。また、「オンラインメンバー登録」ウィンドウがアクティブでなくなると、アニメーションは停止します。再開するには「オンラインメンバー登録」ウィンドウをクリックしてください。

**お願い**

松下グループの他製品購入時にPana Information IDを取得したことがないかよくご確認ください。すでにPana Information IDを取得しているのに左記画面で「…お持ちでない方」を選択すると二重に取得することになります。
また、今回はじめて取得する場合、松下グループの他製品購入時には、ここで取得したIDをご使用ください。

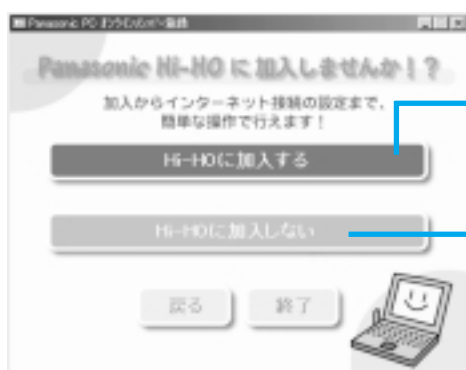
## Pana Information ID **をお持ちでない場合**

**2** **メールアドレスを持っているかどうかを選ぶ。**

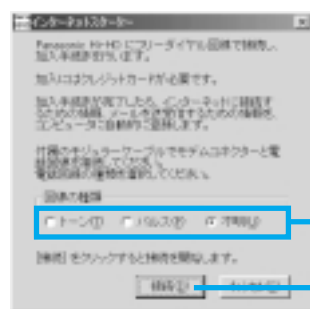
**＜メールアドレスを持っていない場合＞**
**ここを クリック**
**→手順3へ**

**＜メールアドレスを持っている場合＞**
**ここを クリック**
**→19ページ手順4へ**

**3** **＜メールアドレスを持っていない場合のみ＞**

**プロバイダーPanasonic Hi-HO（以後、Hi-HO）に加入してメールアドレスを取得するかどうかを選びます。**

**＜加入する場合＞**
**ここを クリック**
**→次ページへ**

**＜加入しない場合＞**
**ここを クリック**
**「オンラインメンバー登録」を終了します。**

**以降の加入手続きを行うと、デスクトップの「インターネットスターター」アイコン（→右記）から加入した場合と同様の扱いになります。**

**1** **使用する電話回線の種類を クリック**

**2** **［接続］を クリック**

---

**メールアドレス**
**電子メールの宛先**
**（例）**
matsushita-taro@dab.hi-ho.ne.jp

**プロバイダー**
**コンピューターを電話回線からインターネットへ接続する会社で、いずれかのプロバイダーに加入しないと、インターネット上で電子メールのやりとりができません。**

◀ **Panasonic PCのオンラインメンバー登録を行わなかった場合、オンラインメンバーの特典（インターネット・電子メールの情報サービスなど）を受けることができません。後日メールアドレスを取得された場合は、Panasonic PCオンラインのホームページからオンラインメンバー登録をしてください。（→24ページ）**
**なお、Panasonic PCのオンラインメンバー登録を行わなくても、製品の保証とアフターサービスは受けることができます。→『活用編』「ソフトウェア使用許諾書」および「保証とアフターサービス」**

**インターネットスターターアイコン**

**ターミナルアダプターなどのドライバーをインストールした場合**
**左記画面にモデムの選択項目が追加されます。その場合は、使用するモデムを選んでください。**
**ターミナルアダプターについて詳しくは、ターミナルアダプターなどに付属の説明書をご覧ください。**
**（内蔵モデム用は、「Panasonic Internal Softmodem」です。）**

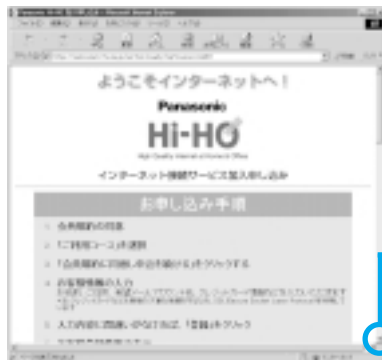
準備

# オンラインメンバー登録をしましょう

準備

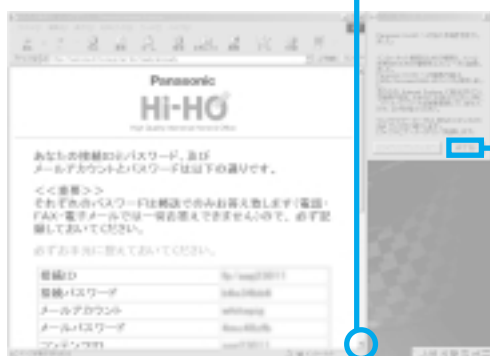
## Pana Information IDをお持ちでない場合（つづき）

<手順3つづき　「Hi-HOに加入する」を選んだ場合>

Hi-HOへ自動ダイヤルし、回線に接続します。
登録までの詳しい手順は『活用編』「プロバイダーに加入し、通信の設定をする」をご覧ください。

▼をクリックし、お申し込み手順などをよく読んだ後、各項目に必要事項を入力する。

画面の指示に従って、操作を行ってください。

入力内容をよく確認し、[登録]を クリック

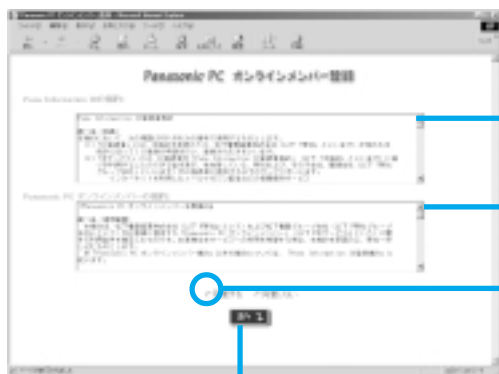
加入手続きが終わると、Hi-HOに登録された情報が表示され、その情報がコンピューターに自動で設定されます。

1. ▼をクリックし、最後まで内容を確認し、メモを取る。（→43ページ記入欄）
2. [終了]を クリック
回線が切断されます。

電話回線の種類について
トーン：ダイヤル時にピッポッパッと音がする回線。
パルス：ダイヤル時にピッポッパッと音がしない回線。
不明　：トーンかパルスかが不明な場合に選んでください。まず、トーンで接続を開始し、つながらなければ、パルスで接続し直すかどうかの確認メッセージが表示されます。

回線がつながらないときは
・話し中の場合（回線が混雑しているとき）は、少し待ってから操作をし直してください。
・電話回線の種類や使用するモデムの設定が正しいか確認してください。

お願い

・[登録]ボタンは、ダブルクリックしないでください。また、[登録]ボタンをクリックした後、次の画面が表示されるまで多少時間がかかります。この間に再度クリックしないでください。
2重に登録されることがあります。
・接続ID、パスワード、メールアカウントなどは忘れないように必ずメモを取って残しておいてください。
また、この情報は、「マイドキュメント」フォルダーに「hi-ho.txt」というファイル名で保存されています。このファイルを開いて、参照することもできます。
・メールアカウントが使えるようになるまで約2時間かかります。

## 4 特典などについての説明を読む。

## 5 「会員規約」に同意する。

**会員規約**
「Pana Information」登録者と、「Panasonic PC オンラインメンバー」登録者の両方の規約が表示されます。

◀「同意する」の左横の○をクリックすると、◉になります。「同意しない」を選ぶと、登録が中止されます。

**1つ前の画面に戻りたいとき**
画面左上の「戻る」をクリックします。

# オンラインメンバー登録をしましょう

準備

## Pana Information ID をお持ちでない場合（つづき）

**6** 登録する情報を入力する。

各欄の入力例や説明をよく読んで入力してください。

「全６画面中の1画面目」を表します。

1 入力欄にポインター（I）を合わせて クリック

カーソル（I）が表示され、文字が入力できる状態になります。

2 入力後、[次へ]を クリック

入力後、[次へ]を クリック

**お願い**

マークのある項目は、必ず入力してください。

文字の入力について詳しくは
→28ページ

「性別」など
該当する方の○をクリックし、◉にします。

「生年月日」など
「月」「日」は▼をクリックして、選びます。

全角と半角（ローマ字・数字）
各項目とも、指定の通りに入力してください。Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。

項目間のカーソル（I）移動
Tab を押す：　次の項目へ
Shift ＋ Tab を押す：前の項目へ

ご住所
住所1～住所3を使って、マンション名、部屋番号まで正しく入力します。

17～18ページでHi-HOに加入した場合
Hi-HO加入時に入力した情報がオンラインメンバー登録画面にも反映されています。

### 住所を簡単に入力するには

下記手順に従って郵便番号辞書を使えるようにした後、「住所1」の入力欄に全角で郵便番号（例：１０１－００３２）を入力して変換すると、該当する住所を入力できます。
・郵便番号や住所は変更されることがあります。必ず、変換結果を確認し、必要に応じて入力し直してください。

<郵便番号辞書を使えるようにするには>

①文字入力ツール の をクリックする。
②[辞書/学習]タブをクリックする。
③[MS-IME 98 郵便番号辞書]の左側の□をクリックしてチェックマークを付け（白い四角にチェック☑）、[OK]をクリックする。

入力後、[次へ]を クリック

同様にして各画面を入力後、[次へ]をクリックして最後まで入力してください。[戻る]をクリックすると、1つ前の画面に戻ります。

## 7 入力情報を確認する。

[確認]を クリック
「送信ボタンを押してください」というメッセージが表示されたら、[OK]をクリックしてください。

## 8 入力情報を送信する。

[送信]を クリック

（次ページへ続く）

**お願い**

マークのある項目は、必ず入力してください。
「機種品番」「製造番号」については保証書や本体を参照してください。

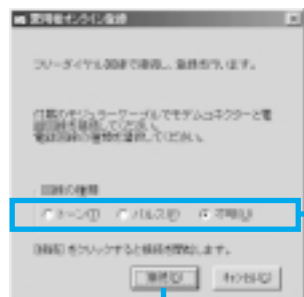
パスワード
半角8文字の英数字を入力してください。大文字と小文字は区別されます。

◀再入力を指示する画面が表示された場合は、入力情報を修正し、再度、[確認]をクリックしてください。

準備

# オンラインメンバー登録をしましょう

準備

## Pana Information ID をお持ちでない場合（つづき）

1 使用する電話回線の種類を クリック

2 [接続]を クリック

3 「セキュリティの警告」画面が表示されたら[OK]を クリック

フリーダイヤルでダイヤルし、電話回線に接続します。登録が終了したら、Pana Information IDとパスワードが表示されます。

終了する場合は、☒を クリック

**取得したIDとパスワードを43ページの記入欄にメモしてください。**

[終了]を クリック
回線が切断されます。

ターミナルアダプターなどのドライバーをインストールした場合
→17ページ

電話回線の種類について
→18ページ

回線がつながらないときは
→18ページ

**お願い**

- IDとパスワードはオンラインメンバーのサービスを受けるために必要ですので、正確に記入してください。
  また、この情報は、「マイドキュメント」フォルダーに「PanaInfo.txt」というファイル名で保存されています。このファイルを開いて参照することもできます。
- IDを忘れた場合、再取得が必要となりますので、ご注意ください。
- 他人に悪用されないようIDとパスワードの管理には十分注意してください。

## Pana Information ID をお持ちの場合

16ページの手順1の後、以下の手順に従って操作をします。

**1** 回線に接続する。

ターミナルアダプターなどのドライバーをインストールした場合
→17ページ
電話回線の種類について
→18ページ
回線がつながらないときは
→18ページ

フリーダイヤルでダイヤルし、電話回線に接続します。

**2** Pana Information ID などを入力する。

◀パスワードはセキュリティ保護のため「*」で表示されます。

[基本情報確認]画面が表示されますので、確認後、[次へ]を クリック

◀住所・姓名などの基本情報に変更がある場合は[基本情報更新]をクリックして、変更してください。また、パスワードを変更したい場合は[パスワード変更]をクリックして、変更してください。

「Panasonic PC オンラインメンバー」の会員規約が表示されます。（松下グループ全体の「Pana Information」の会員規約は表示されません。）

**3** 「会員規約」に同意する。

19ページの手順5を参考に操作してください。

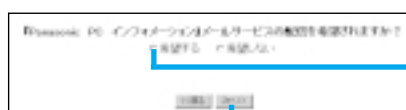
**4** 登録する情報を入力する。

20ページの手順6を参考に操作してください。

**5** 入力情報を登録する。

最後の画面で[次へ]を クリック

◀登録画面のデザインや内容は、Pana Information ID を持っていない場合と持っている場合とで多少異なります。

**6** メールサービスの配信の手続きをする。

これで、「Panasonic PC オンラインメンバー登録」は終了です。

準備

# オンラインメンバー登録をしましょう

## Panasonic PC オンラインのホームページを表示します

Panasonic PC オンラインのホームページでは、住所・姓名・メールアドレスなどを変更したり、メールテクニカルサポートの利用方法やパスワードを忘れた場合の対処方法などを参照したりすることができます。
また、このホームページから「Panasonic PCのオンラインメンバー登録」を行うこともできます。
ホームページ表示時は、プロバイダーへの接続料金と電話料金（回線使用料）がかかります。

準備

**1** 「Panasonic PC オンライン」を表示する。

[スタート]→[プログラム]→[Panasonic]の順にポインターを合わせて、[Panasonic PCオンライン]を クリック

**2** ダイヤルアップ接続を行う。

1 ▼をクリックして、接続先を選ぶ。

2 [ダイヤルのプロパティ]をクリックして、ダイヤル方法を設定する。（→18ページ「電話回線の種類について」、『活用編』「新しく接続先を設定する」）

3 [接続]を クリック

チェックマークを付けると、次回接続時からパスワードを入力する手間が省けます。ただし、パスワードを知らない人でも接続可能になりますので、注意してください。

オンラインメンバーのホームページが表示されます。

<登録内容の確認・更新>
すでに登録されている個人情報の確認や更新をすることができます。[登録内容の確認・更新]をクリックし、画面に従って操作してください。

<よくある質問（FAQ）><お問い合わせメール>
コンピューターが思うように動かないときなど困ったときの対処方法を参照したり、メールテクニカルサポートを利用したりできます。
まず、[よくある質問（FAQ）]をクリックして対処方法を確認してください。それでも原因がわからない場合は、[お問い合わせメール]をクリックしてログインした後、画面に従って操作してください。

<パスワード再発行（パスワードを忘れられた方）>
「Pana Information」のパスワードを忘れた場合に、元のパスワードを無効にし、新たにパスワードを登録することができます。[パスワード再発行]をクリックし、ID・メールアドレス・生年月日を入力すると、1時間だけ有効な仮パスワードが発行されます。仮パスワードでログインして、パスワードを変更してください。詳しくは、画面の指示に従ってください。

<新規メンバー登録>
Panasonic PCのオンラインメンバー登録を行うことができます。まだメンバー登録をしていない場合や、IDを忘れてしまって再取得が必要な場合にご利用ください。

**お願い**

- あらかじめ、通信環境を整えておいてください。
 （→取扱説明書『活用編』「通信機器を準備する」）
- 登録内容の変更/更新操作は、フリーダイヤルではありません。

◀インターネットエクスプローラで「アドレス」に「http://www.pc.panasonic.co.jp/pc/」(2000年7月現在）と入力しても、ホームページを表示することができます。

◀「ユーザー名」と「パスワード」には、プロバイダーから取得した回線接続用のユーザー名（接続ID）とパスワードを入力してください。パスワードはセキュリティ保護のため「*」で表示されます。

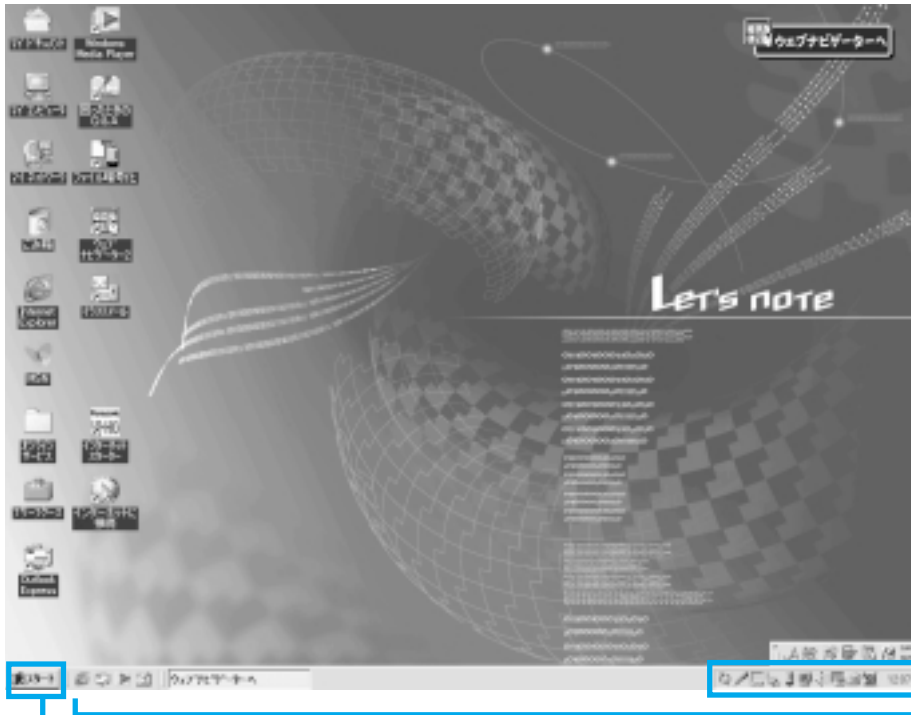
◀「自動的に接続する」にチェックマークを付けている場合、[接続]をクリックする必要はありません

◀ホームページの内容は随時、変更されていますので、実際の内容と異なる場合があります。

IDを忘れてしまった場合
「マイドキュメント」フォルダーに「PanaInfo.txt」ファイルがないか確認してください。「PanaInfo.txt」ファイルがある場合はこのファイルを開いて参照することができます。
ない場合はIDを確認する方法はありません。再度メンバー登録を行ってIDを取得してください。
(→左記)

# Windowsの画面を見てみましょう

電源を入れて最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。デスクトップのアイコンや左下の「スタート」メニューからいろいろな機能を起動することができます。

＜デスクトップ＞ 画面例は、一部実際と異なる場合があります。

デスクトップの背景（壁紙）を好みのものに変更することができます。

壁紙の変更のしかた：

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックする。
②[画面]アイコンをダブルクリックする。
③「背景」の「壁紙」の中から好きなものを選ぶ。
④[OK]をクリックする。

＜タスクトレイ＞
日本語入力や音量の調整などのアイコンが並んでいます。

＜スタート＞
コンピューターの設定を行ったり、アプリケーションソフトを起動したり、このメニューからいろいろな作業を始めることができます。

＜タスクバー＞
起動しているソフトや開いているウィンドウの名前が表示されます。

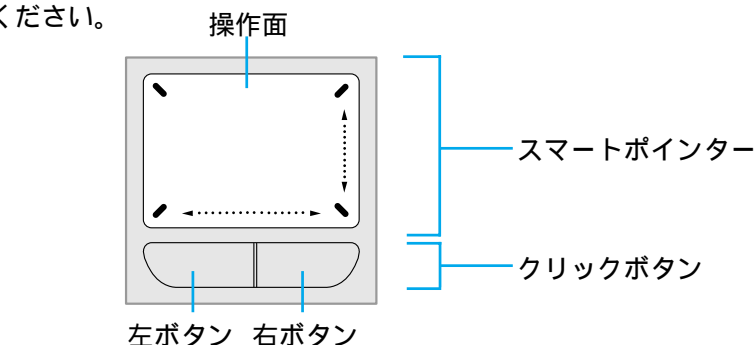
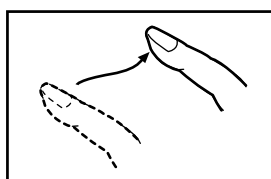
＜アイコン＞
ファイルや機能の内容を絵で表示したもの。
デスクトップ上のアイコンをダブルクリック（→26ページ）すると「スタート」メニューから選ぶより短い手順でアプリケーションソフトを起動したり、フォルダーを開いたりすることができます。
下記に基本的なアイコンについて説明します。

マイドキュメント（→31ページ）
アプリケーションソフト等で作ったファイルを保存しておくフォルダーです。

マイコンピュータ（→38ページ）
コンピューター本体の中身や設定を見ることができます。

ごみ箱（→40ページ）
いらなくなったファイルやフォルダーをこの中に捨てます。

# スマートポインターとクリックボタン

ここでは、スマートポインターとクリックボタンの基本的な操作について説明します。スマートポインターの便利な機能については、『活用編』をご覧ください。

◀「マウスのプロパティ」を使うと、スマートポインターやクリックボタンの動作を変更することができます。詳しくは『活用編』をご覧ください。

指の動き

画面上の矢印（ポインター）の動き

◀操作面を軽く指先でこすると、矢印をスムーズに動かすことができます。

## 基本操作

| 機　能 | 操　作　方　法 |
|---|---|
| クリック | 左ボタンを１回押して離す。 |
| タップ | 操作面上を軽く１回指先でたたく。* |
| ダブルクリック | 左ボタンをすばやく２回押して離す。 |
| ダブルタップ | 操作面上をすばやく２回指先でたたく。* |
| ドラッグ | 1本の指で左ボタンを押したまま別の指で操作面をこするか、操作面を1回たたいて*からすばやく指先で操作面をこする。 |
| スクロール | ここを指先で上下にこすると、ウィンドウの縦方向のスクロールバーの上下移動と同じ働きをします。<br>ここを指先で左右にこすると、ウィンドウの横方向のスクロールバーの左右移動と同じ働きをします。 |

*必ず指を離してください。

クリックやタップの働き
　操作の対象となるものの選択・操作の実行

ダブルクリックやダブルタップの働き
　アプリケーションソフトの起動など関連づけられた操作の実行

ドラッグの働き
　画面や矢印の位置にあるものの移動※・範囲の指定
　※ドラッグ後、指を離す（ドロップする）とその位置に移動

各取扱説明書中の表記について
　クリックとタップは基本的には同じ働きをします。また、ダブルクリックとダブルタップも基本的には同じ働きをします。
　本書では区別を必要としない場合は、「クリック」または「ダブルクリック」と記載します。
　必ず、タップまたはダブルタップしていただきたいときのみ、「タップ」または「ダブルタップ」と記載します。

# 使ってみましょう

文書を作るワープロソフト「ワードパッド」を例にして、アプリケーションソフトの起動と終了・文字の入力・保存など、操作の基本を説明します。

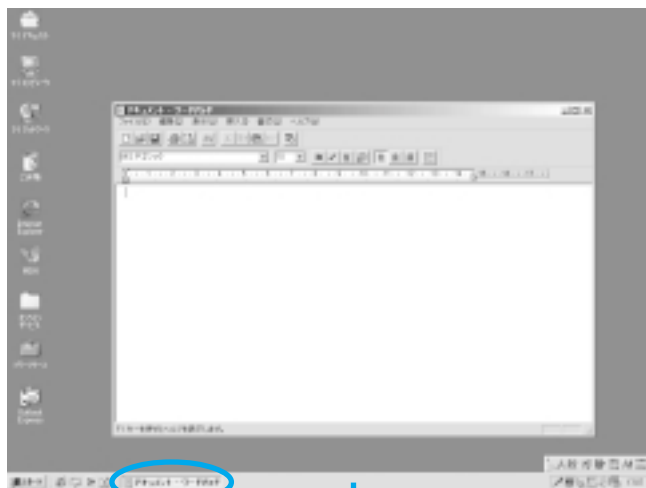
## アプリケーションソフト（ワードパッド）の起動

アプリケーションソフトは、「スタート」メニューから始めます。

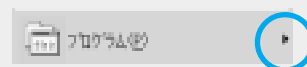
### 1 ワードパッドを起動する。

① [スタート]を クリック

② [プログラム]→[アクセサリ]の順に矢印（ポインター）をあわせる。

③ [ワードパッド]を クリック

タスクバー

◀画面例は、実際と異なる場合があります。

◀スタートメニューについて

右向きや下向きの三角は、そのメニューの次にさらにメニューが用意されていることを示します。

◀ワードパッドのウインドウが表示されます。画面下部のタスクバーに、起動中のソフトのタイトル（この場合、「ドキュメント-ワードパッド」）が表示されます。

ウィンドウズ入門

### インタラクティブトレーニングについて

Windowsの基本操作について、知りたいときにご利用ください。
下記手順に従って操作すると、画面と音声で説明が始まります。

①[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[インタラクティブトレーニング]をクリックする。

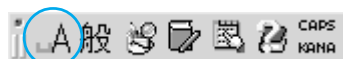
②メニュー欄から、メニューを選ぶ。
メニューの選びかたは、エクスプローラでの操作と同じです。43ページを参照してください。

# 使ってみましょう

## 文字の入力（キーボードの基本操作）

### 日本語(全角)と英数字(半角)の切り換え

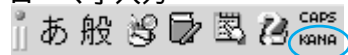
Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに日本語入力モードと英数字入力モードが切り換わります。（画面右下の表示で確認できます。）

◀英数字入力モードでは、標準（全角）の半分の幅（半角）で入力されます。

日本語入力モード

英数字入力モード

### 入力方法について

かなの入力方法には「ローマ字入力」と「かな入力」があります。
日本語入力モードで Alt ＋ ローマ字 を押すごとに、入力方法が切り換わります。（画面右下の表示で確認できます。）

◀工場出荷時はローマ字入力です。

ローマ字入力

かな入力

<ローマ字入力>
ローマ字のつづりで「HA NA」と押すと、「はな」と入力されます。
H A N A → はな

ローマ字入力の特徴
主にA～Zを使うのでキーの場所は覚えやすいが、キーを押す回数が多い。

<かな入力>
ひらがなで「はな」と押すと「はな」と入力されます。
は な → はな

かな入力の特徴
あ～んのキーを使うので、キーの場所を覚えるのに時間がかかるが、キーを押す回数は少ない。

### キーの打ち分け

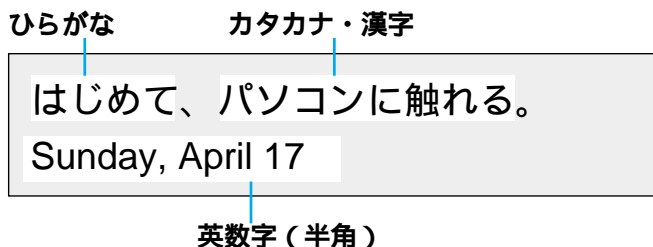
*1 Shift を押しながら押すと、英大文字を入力できます。

*2 Shift ＋ カタカナ/ひらがな を押すとカタカナに切り換わります。カタカナ/ひらがな を押すとひらがなに戻ります。

**チルダ（˜）の入力**

チルダ（˜）は、英数字入力モードにして Shift ＋ ^ を押します。

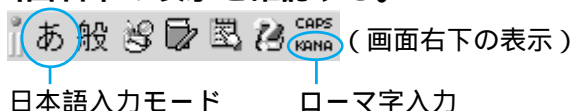
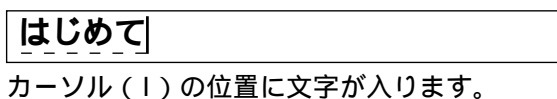
## 例文の入力

電子メールやワープロソフトを楽しむために入力の練習をしてみましょう。

ひらがな　カタカナ・漢字

**はじめて、パソコンに触れる。**
Sunday, April 17

英数字（半角）

### ＜ひらがな＞

**1** 画面右下の表示を確認する。

（画面右下の表示）

日本語入力モード　ローマ字入力

**2** H A J I M E T E を押す。

はじめて

カーソル（I）の位置に文字が入ります。

**3** 読点「、」は < 、ね をそのまま押し、Enter を押す。（確定）

はじめて、

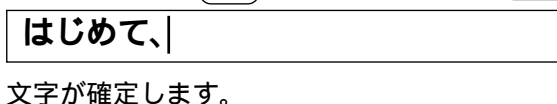
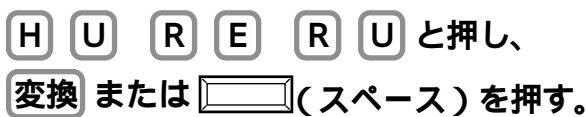
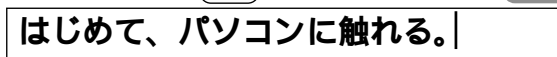
文字が確定します。

### ＜カタカナ・漢字＞

**4** P A S O K O N N N I H U R E R U と押し、
変換 または （スペース）を押す。

はじめて、パソコンに触れる

**5** 句点「。」は > 。る をそのまま押し、Enter を押す。（確定）

はじめて、パソコンに触れる。

**6** 行を変える。
Enter を押す。

はじめて、パソコンに触れる。

◀ワードパッドを使い、入力方法はローマ字入力で説明します。

◀日本語入力モードになっていない場合は、前ページを参照して切り換えます。

カーソル（I）の移動

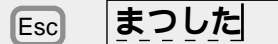
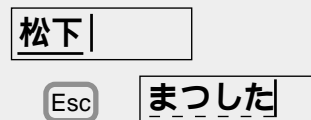
- ← → ↑ ↓ で移動することができます。
- カーソル（I）は、文字の入力範囲でのみ動きます。
- スマートポインターをこすって画面上のカーソル（I）を目的の位置に移動してクリックすると、離れたところにすばやく移動できます。

間違えたら

- Back space を押すと、カーソル（I）の左の文字が消えます。
- 間違えて 変換 を押した場合、Esc を押すと、一つ前の状態に戻すことができます。

松下

→ Esc → まつした

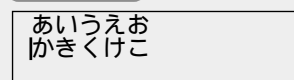
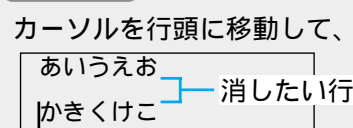
→ Esc →

- Enter を押しすぎたら、行の先頭で Back space を押します。

①カーソルを行頭に移動して、

あいうえお
かきくけこ　消したい行

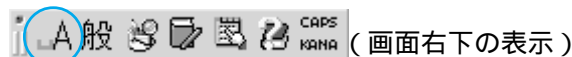
② Back space

あいうえお
かきくけこ

ウィンドウズ入門

# 使ってみましょう

## ＜英数字（半角）＞

**7** Alt ＋ 半角/全角 を押し、英数字入力モードに切り換える。

（画面右下の表示）

英数字入力モード

**8** 大文字の「S」は、 Shift ＋ S を押す。

小文字はそのままキーを押す。
コンマ「,」は ＜、,ね を押す。

| はじめて、パソコンに触れる。<br>Sunday, April 17 |
|---|

**9** Alt ＋ 半角/全角 を押し、日本語入力モードに戻す。

日本語入力モード

**大文字を続けて入力するには**

Shift ＋ Caps Lock を押した後、そのままキーを押します。

再度 Shift ＋ Caps Lock を押すと、小文字の入力に戻ります。

**日本語入力モードで英字(全角)を入力するには**

Caps Lock を押し、画面右下の表示を下記のように切り換えます。

ひらがなの入力に戻す場合は、カタカナ/ひらがな を押します。

### 目的の漢字が出ないとき

・読みを入力して、 変換 を2回押すと、同じ読みの漢字一覧が表示されます。さらに 変換 を押して目的の漢字を反転させ、 Enter を押します。

・変換中にひらがなに戻すには、 F6 （ひらがな）、または 無変換 を押します。
・変換中にカタカナにするには、 F7 （カタカナ）、または 無変換 を押します。

### 変換で出せる記号（代表例）

欧文・学術・ギリシア文字・一般記号（アッパーバー（￣）、々など）は、記号の一覧から入力できます。
①読みを「きごう」と入力し、変換（２回）。
②表示される記号の一覧の中から選ぶ。

### 画面右下の表示（文字入力カーソル）をクリックしても、入力文字などを切り換えられます

## 文書の保存

このままワードパッドを終わってしまうと、せっかく入力した文章が消えてしまいます。コンピューター本体に保存しておきましょう。

### 1 保存の機能を選ぶ。

❶ [ファイル]を クリック

❷ [名前を付けて保存]を クリック

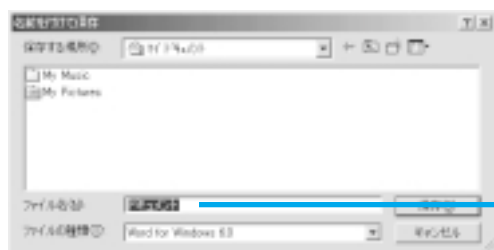
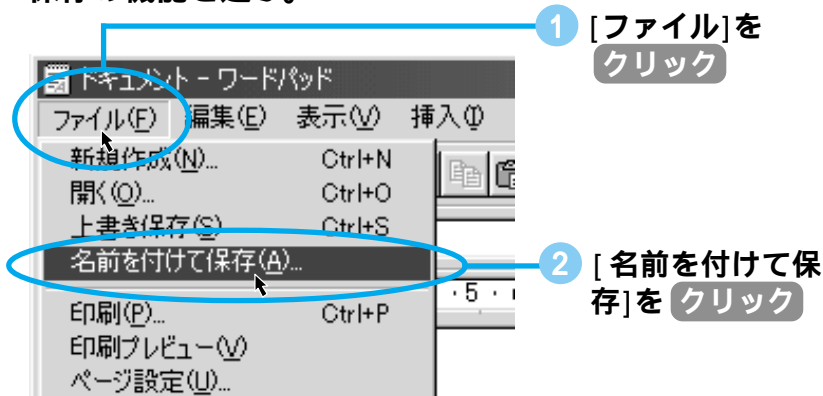
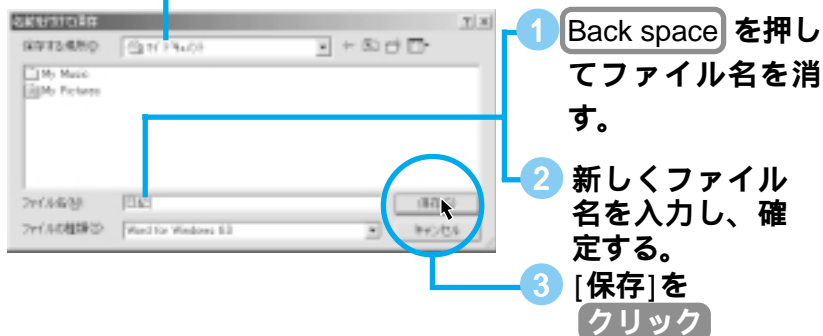
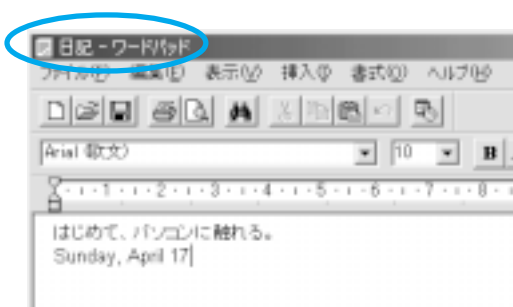
「ファイル名」が反転表示されているのを確認する。

### 2 ファイル名を入力し、保存する。

保存する場所

❶ Back space を押してファイル名を消す。

❷ 新しくファイル名を入力し、確定する。

❸ [保存]を クリック

### 3 ウィンドウ左上のファイル名表示が、「日記」になっていることを確認する。

**ファイル(文書)とファイル名**

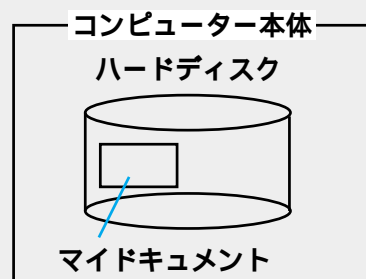
- 1行の文章であっても、1つのファイル（文書とも呼ぶ）としてファイル名を付けて保存します。
- ファイル名には、次の記号を使用できません。

My Music、My Pictures について
→40ページ

◀初めは、任意のファイル名が表示されています。

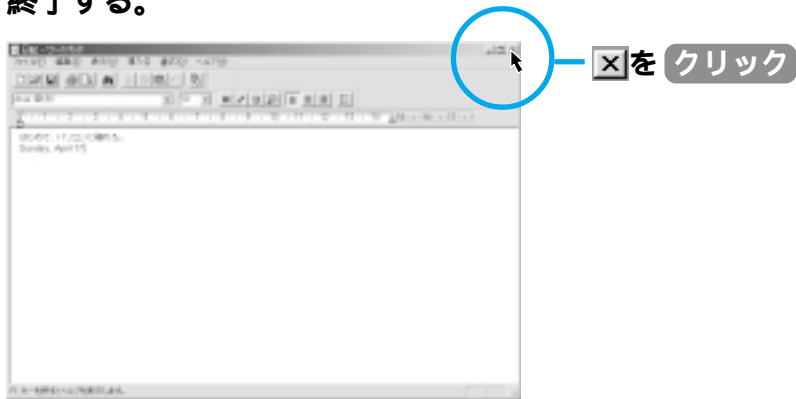
**文字の入力のしかた**
→28ページ

**保存する場所**

保存場所を指定しない場合、ファイルは、コンピューター本体内のハードディスクの「マイドキュメント」というフォルダー（整理箱）に保存されます。

新たにフォルダーを作り、その中に保存することもできます。
（→40ページ）

## アプリケーションソフト（ワードパッド）の終了

いったん、終了してみましょう。

**1** 終了する。

ほかの終了方法
画面左上の[ファイル]メニューをクリックし、[ワードパッドの終了]をクリックします。

◀ワードパッドのウィンドウが閉じられ、デスクトップの画面が表示されます。

電源を切るには
→10ページ

### 操作中にメッセージが表示されたら

メッセージの内容をよく読み、指示に従ってあわてずに操作してください。
例えば、入力内容を保存せずにアプリケーションソフトを終了しようとしたときには、下記のようなメッセージが表示されます。（メッセージはアプリケーションソフトによって異なります。）

・保存して終了するとき　：[はい]をクリック。
・保存せずに終了するとき　：[いいえ]をクリック。
　この場合、入力した内容がすべて消えてしまいますので、よく確認して操作をしてください。
・終了せずに元の画面に戻るとき　：[キャンセル]をクリック。

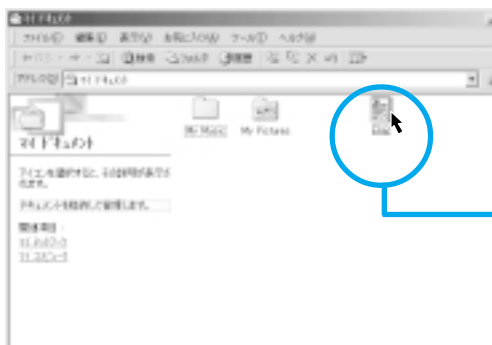
## 文書の呼び出し（ファイルを開く）

保存した文書を画面上に呼び出すことを「ファイルを開く」といいます。ファイルを開くには、いくつかの方法があります。ここではフォルダーに保存したファイルを直接指定して開く方法を説明しましょう。

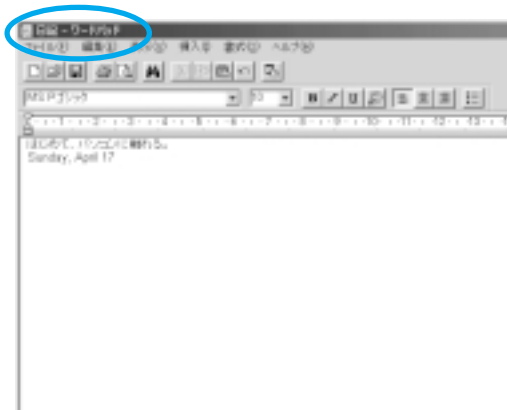
**1** デスクトップ画面が表示されているのを確認する。

**2** フォルダーを開く。

「マイドキュメント」アイコンに矢印をあわせて左ボタンをすばやく２回押す。
（ダブルクリック）

◀まず、「マイドキュメント」フォルダーを開いて、その中に保存されているファイルの一覧を画面に表示させます。

**3** ファイルを開く。

ファイルのアイコンに矢印をあわせてダブルクリック

◀ワードパッドが自動的に起動し、文書が呼び出されます。ウィンドウ左上にファイル名（ここでは「日記」）が表示されます。

ファイルを開くほかの方法
ワードパッドを起動し（→27ページ）、画面左上の[ファイル]→[開く]を順にクリックして、呼び出すこともできます。

## 文書の書き換え

1行目にタイトルを追加し、保存し直しましょう。

**1** １行目の前に２行挿入する。

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

１行目の先頭にカーソル(Ｉ)があるのを確認する。

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

Enter を２回押す。

**2** タイトルを入力する。

今日の出来事

はじめて、パソコンに触れる。
Sunday, April 17

↑ を２回押してカーソルを文頭に移動し、入力する。

**3** 下線を引く範囲を指定する。

今日の出来事

ここにカーソル（Ｉ）を移動して、左ボタンを押し、

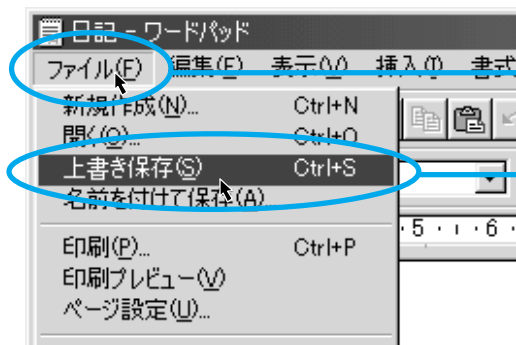
今日の出来事

左ボタンを押したままスマートポインターを右にこすって下線を引く文字を反転表示させる。（ドラッグ）

**4** 下線を引く。

簡易メニューの[U]をクリック

今日の出来事

**5** 上書き保存する。

①[ファイル]をクリック

②[上書き保存]をクリック

文字の入力
→28ページ

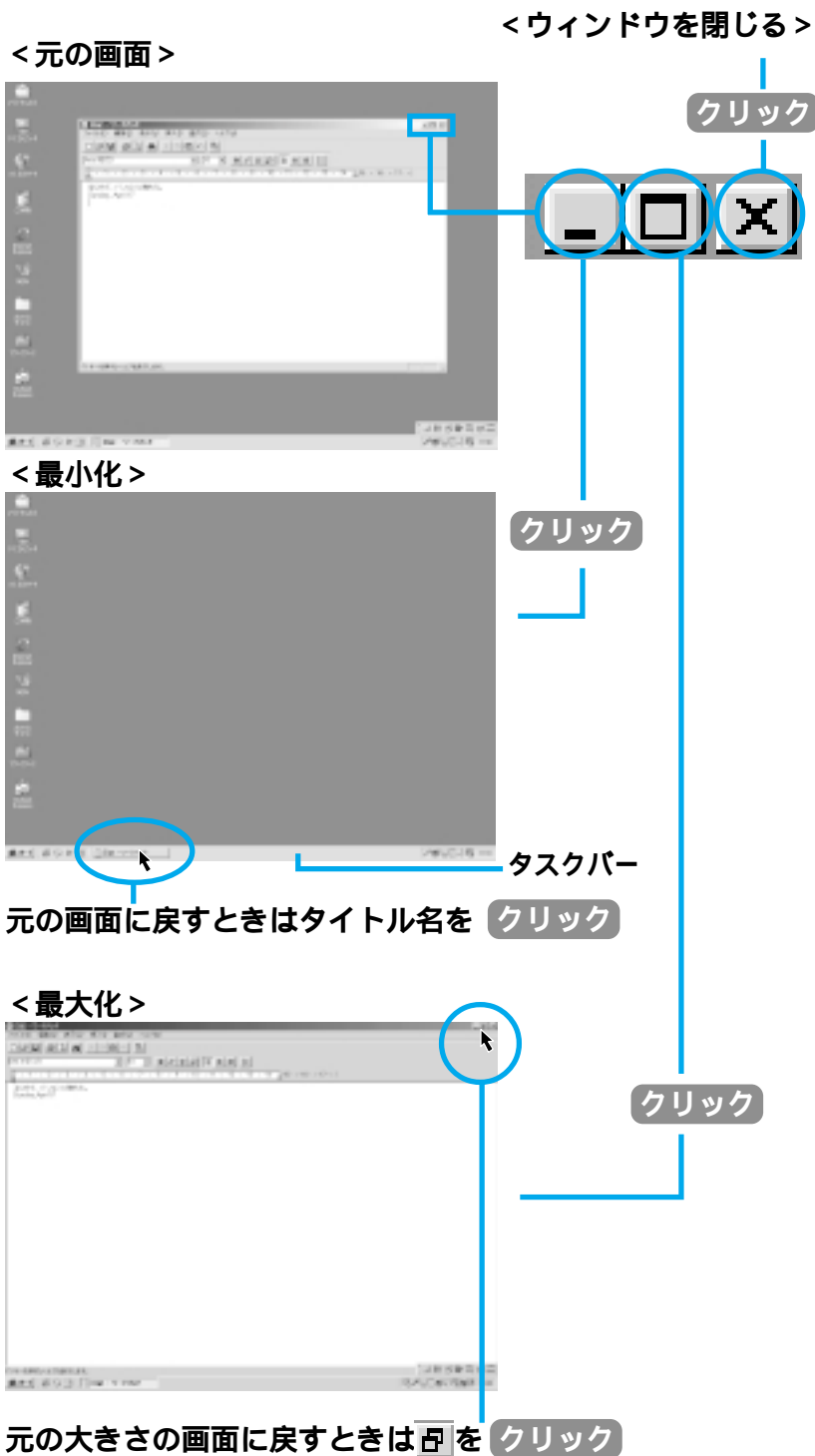
ドラッグに失敗したら
画面の空いているところに矢印を移動して左ボタンを押します。

簡易メニュー
簡易メニューは「ファイル」や「編集」の中からよく使う機能を選び出してアイコンにしたものです。各アイコンに矢印を合わせて少し待つと、アイコンが持つ機能名が表示されます。

「上書き保存」と「名前を付けて保存」
元の文書を、表示中の内容に置き換えるときは「上書き保存」、別の文書として新たに保存する場合は「名前を付けて保存」（→41ページ）を選びます（上書き保存をしても、画面上は何の変化もありません）。

# ウィンドウの操作

Windowsは、その名の通りいくつもの機能のウィンドウ（画面）を開いて操作することができます。ここでは、複数個のウィンドウをうまく切り換えて使用する方法を説明します。

## ウィンドウを隠す（最小化）／最大にする（最大化）／閉じる

**最小化**

最小化を選ぶと、ウィンドウがタスクバーに吸い込まれるように消え、タイトル名だけが表示されます。

**お願い**

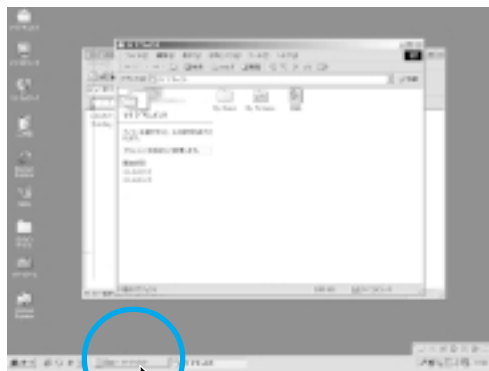
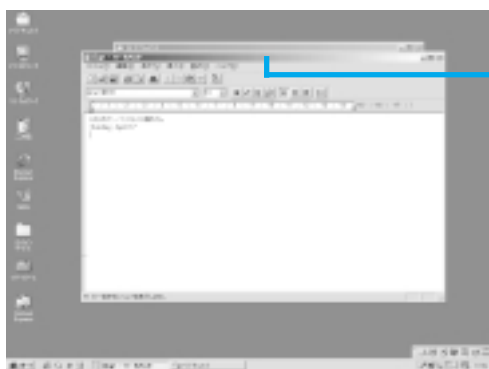
最小化した場合、ウィンドウは一時的に閉じただけで、ソフトを終了したのではありません。
ソフトを終了するときは、ウィンドウを元の大きさに戻して☒をクリックして、閉じてください。

**最大化**

最大化を選ぶと、ウィンドウが画面いっぱいに表示されます。

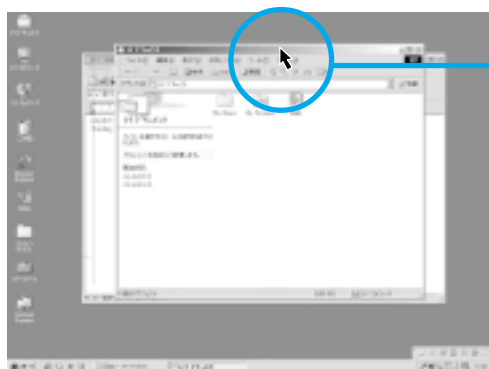
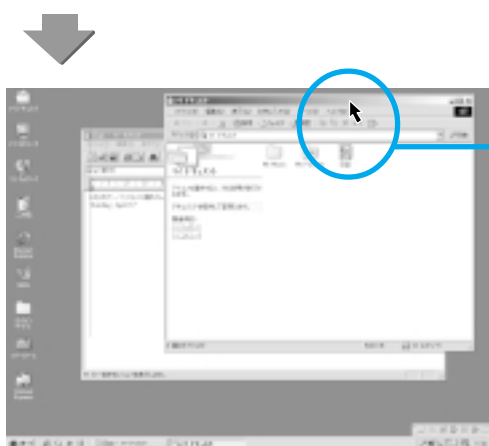
# 使ってみましょう

## ウィンドウの重なりかたを変える

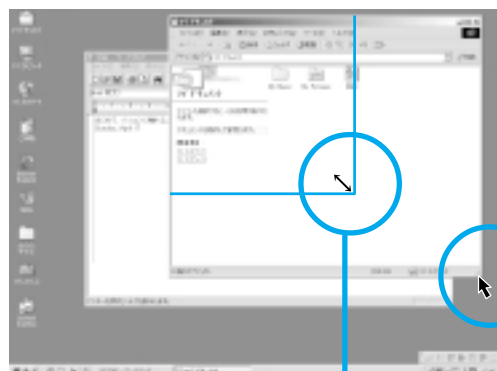
操作したいウィンドウを一番手前に表示する方法です。

目的のウィンドウのタイトルを クリック

タイトルバーが青色になる。

◀手前にしたいウィンドウが見えている場合は、その上に矢印を移動してクリックしても手前に表示することができます。

◀タイトルバーが青色になり、そのウィンドウがアクティブ（操作対象）になります。

## ウィンドウの位置をずらす

タイトルバーにポインター（矢印）をあわせて左ボタンを押し、押したまま、移動したい方向にスマートポインターをこする（ドラッグ）

目的の位置で左ボタンを離す。（ドロップ）

ウィンドウズ入門

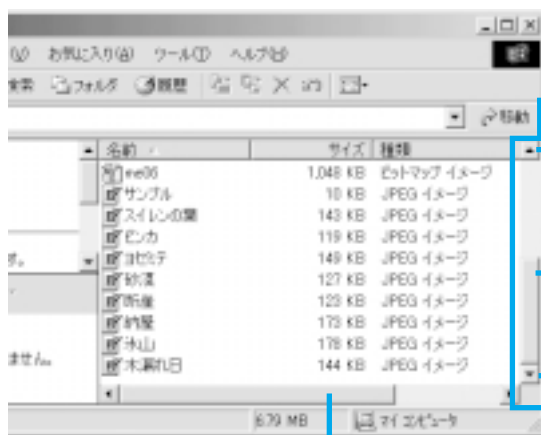
## ウィンドウの大きさを変える

1 ウィンドウの上下左右のいずれかの端、または角にポインター（矢印）をあわせる。

2 ポインターが ↖↘ や ↔ の形になったら、左ボタン押したままスマートポインターをこすり、ちょうどよい大きさになったらボタンを離す。（ドラッグ＆ドロップ）

これで、ワードパッドを使った操作を終わります。
☒をクリックして、ワードパッドを終了しましょう。

電源を切るには
→10ページ

### スクロールバーによる操作

ウィンドウ内にすべての内容を表示できないときは、下記のようなスクロールバーが表示されます。スクロールバーを操作して表示位置をずらし、ウィンドウの外に隠れている部分を表示できます。

スクロールバー

▲ をクリックすると上のほうが見える。

上下にドラッグすると、すばやく画面を動かせる。

▼ をクリックすると、下のほうが見える。

左右のスクロールバーも、上下の場合と同様に操作できます。

# コンピューターの中身をのぞいてみましょう

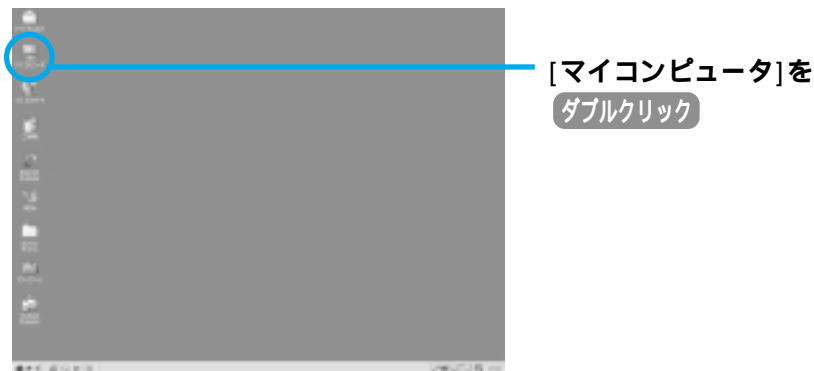
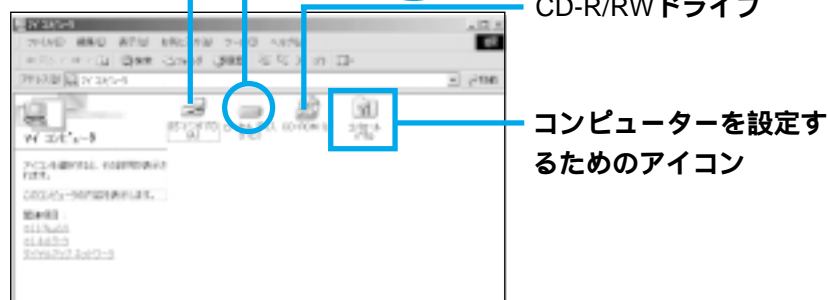
## 「マイコンピュータ」の開きかた

デスクトップから「マイコンピュータ」を開くと、コンピューターの中身をのぞくことができます。

<デスクトップ>

[マイコンピュータ]を ダブルクリック

<マイコンピュータ>

<Cドライブ>

**ドライブの種類**

- フロッピーディスクドライブ
  フロッピーディスクドライブを接続すると、フロッピーディスクのデータを読み書きできます。通常、画面上では（A：）と表示されます。
- ハードディスクドライブ
  本体内のハードディスクにデータを読み書きします。通常、画面上では（C：）と表示されます。
- CD-R/RWドライブ
  CD-ROM、CD-R、CD-RWを使用することができます。
  通常、画面上では（L：）と表示されます。

**お願い**

Cドライブには、コンピューターに必要なシステムやアプリケーションソフトのフォルダーとファイルが保存されています。誤って削除、変更しないように気を付けてください。

ウィンドウズ入門

## 「エクスプローラ」の使いかた

「エクスプローラ」を使うと、「マイコンピュータ」とは違った表示の方法でコンピューターの中身を見ることができます。

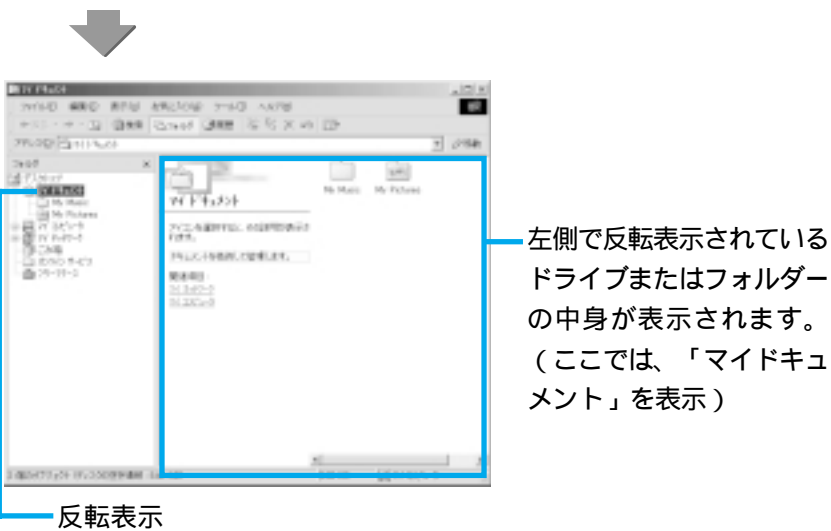
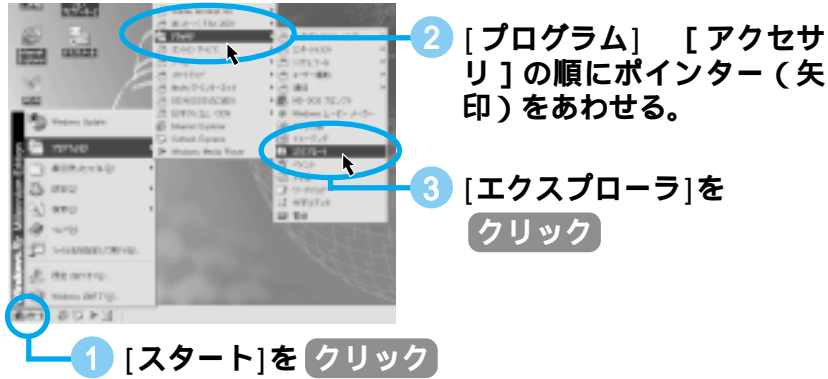
### 1 「エクスプローラ」を起動する。

2 [プログラム]→［アクセサリ］の順にポインター（矢印）をあわせる。

3 [エクスプローラ]を クリック

1 [スタート]を クリック

左側で反転表示されているドライブまたはフォルダーの中身が表示されます。（ここでは、「マイドキュメント」を表示）

反転表示

⊞と⊟のマークについて

⊟をクリックするとその中のフォルダーが表示されなくなり⊞になります。⊞をクリックすると、中にあるフォルダーが表示され、⊞が⊟になります。

→
←

# コンピューターの中身をのぞいてみましょう

## 新しいフォルダーの作りかた

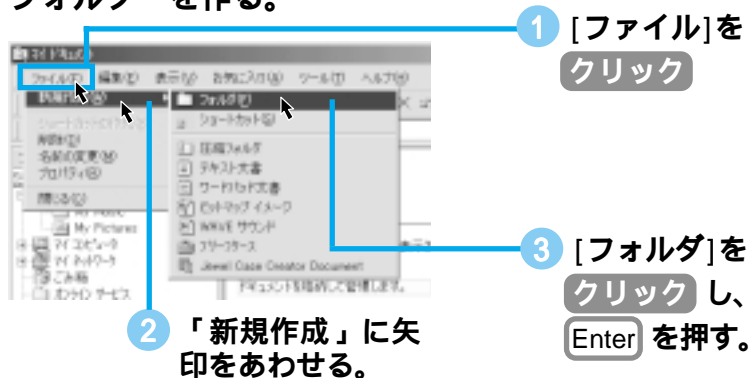
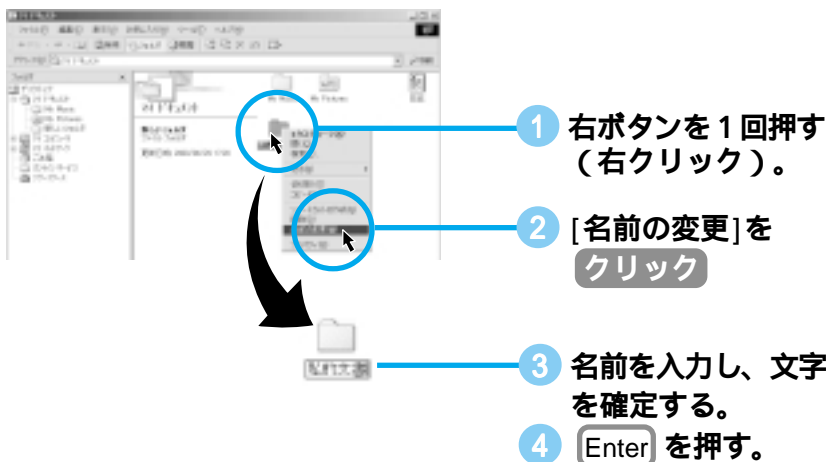
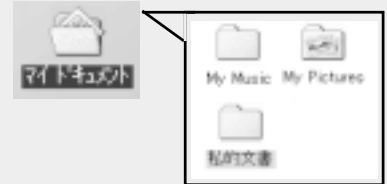
「マイドキュメント」フォルダーの中に、新しいフォルダーを作りましょう。

**1** デスクトップの[マイドキュメント]をダブルクリックする。

**2** フォルダーを作る。

① [ファイル]をクリック
② 「新規作成」に矢印をあわせる。
③ [フォルダ]をクリックし、Enter を押す。

**3** 「新しいフォルダ」の名前を変える。

① 右ボタンを１回押す（右クリック）。
② [名前の変更]をクリック
③ 名前を入力し、文字を確定する。
④ Enter を押す。

◀文書の内容ごとにフォルダーを作り、同じ種類のファイルをそれぞれのフォルダーに保存しておくと、管理しやすくなります。マイドキュメントには、あらかじめ「My Pictures」と「My Music」の2つのフォルダーがあります。

新しいフォルダーの作成に失敗したら下記の「作ったフォルダーやファイルを消すには」をご覧ください。

◀ファイル名も同じ方法で変更できますので、覚えておきましょう。<u>元からコンピューターにあるフォルダーやファイルの名前は絶対に変更しないでください。</u>コンピューターが正しく動かなくなります。
◀日本語入力モードになっていないときは
Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードを切り換えられます。

ウィンドウズ入門

### 作ったフォルダーやファイルを消すには

フォルダー、またはファイルをごみ箱（→25ページ）へ移動すると、消したことになります。（フォルダーを移動すると、中にあるファイルも消えます。）
<u>元からコンピューターに入っているフォルダーやファイルは絶対に消さないでください。</u>
Windowsが起動できなくなったり、コンピューターが正常に動作しなくなります。
①消したいフォルダーに矢印をあわせる。
②左ボタンを押したまま、スマートポインターをこすってフォルダーを「ごみ箱」上へ移動し、左ボタンを離す。（キーボードの Del を押しても消すことができます。）
③削除の確認メッセージが表示されるので、削除していい場合は[はい]をクリックする。（ごみ箱の中身を表示させるときは、ごみ箱に矢印をあわせてダブルクリックしてください。）

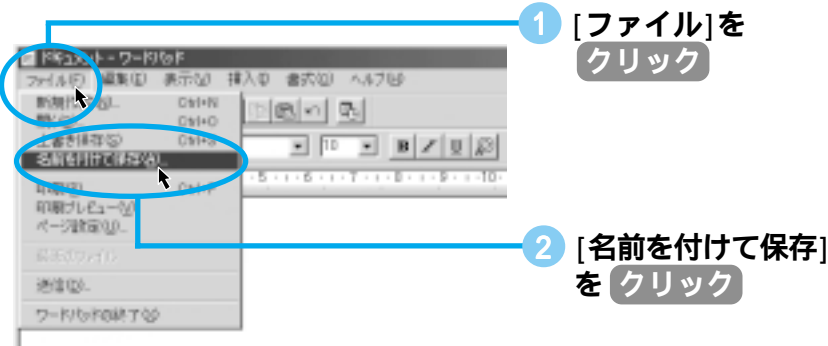
## 作ったフォルダーへの保存のしかた

前ページで作ったフォルダーの中に、ファイルを保存します。

**1** 「ワードパッド」を起動する。（→27ページ）

◀「ワードパッド」を例にして説明します。

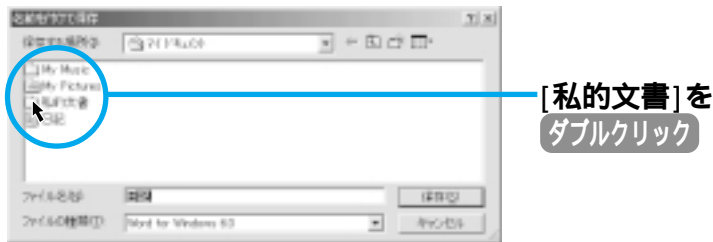
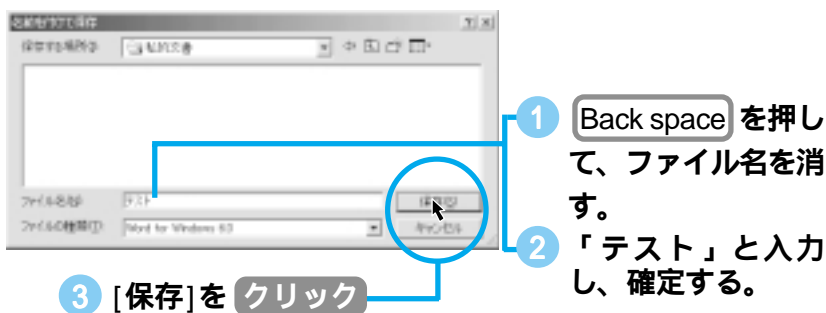
**2** 名前を付けて保存する。

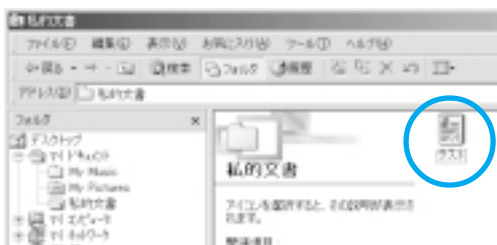
◀ここでは何も入力せずに、すぐに保存の練習をします。

**3** 前ページで作った「私的文書」フォルダーを開く。

**4** ファイル名を入力する。

◀左の画面で をクリックすると、一つ上のフォルダー（この場合、「マイドキュメント」）に戻ることができます。

日本語入力モードになっていないときは

Alt ＋ 半角/全角 を押すごとに、日本語入力モードと英数字入力モードを切り換えられます。

**5** ワードパッドを終わる。（→32ページ）

**6** 保存できたことを確認する。

33ページの手順2を参照して「マイドキュメント」を開き、「私的文書」を開いてください。

ウィンドウズ入門

## お客様へのお願い

下記の情報をこの欄に記入してください。
また、これらの情報を他人に悪用されないように管理には十分に注意してください。

■Windowsシステムのプロダクトキー（本体底面のラベルに記載されています。→本書5ページ）

| |
|---|
| |

■Pana Informationサービス用ID・パスワード（→本書22ページ）

| | |
|---|---|
| Pana Information ID | |
| パスワード | |

■Panasonic Hi-HOの登録情報
（Hi-HO加入者のみ→本書17、18ページ、『活用編』「プロバイダーに加入し、通信の設定をする」）

| | |
|---|---|
| 接続ID | |
| 接続パスワード | |
| メールアカウント | |
| メールパスワード | |
| メールサーバー | |
| 電子メールアドレス | |

■その他のID・パスワード用

| | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。

Panasonic

パーソナルコンピューター　CF-M2シリーズ　取扱説明書『セットアップ編』

松下電器産業株式会社　パナソニックコンピュータカンパニー

〒101-0032　東京都千代田区岩本町3丁目2番4号　東京建物岩本町ビル

FJ0800-0
DFQM2102ZA